



2014

コーポレート・シティズンシップ・レポート

最高経営責任者からのご挨拶

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況の要約
- ・ GRI インデックス

TIの事業運営の礎となる価値は、誠実、革新、コミットメントです。世界中のTI従業員は日々、正しいことを行い、不可能に挑戦し、より良い社会を目指し、様々なことに取り組んでいます。

さまざまな意見に基づく取り組み

私たちは1年を通じてTIの従業員、お客様、投資家、コミュニティ・リーダーなどに対し、TIの事業運営にかかわる最も重要な社会問題や、環境問題についての意見を求めてきました。そうして得られた意見を基に、私たちはさらなる成果を上げていくための方法に取り組んできました。たとえば、主要製造サプライヤ上位80%の環境事業や社会事業を評価し、責任のあるサプライ・チェーンを構築する取り組みを強化しました。

コミュニティへのサポート

コミュニティの強化はTIのシティズンシップ・プログラムの根幹をなすものです。2014年、私たちは米国のユナイテッド・ウェイに過去最高となる740万ドルを寄付し、TIの拠点がある地域に直接的な貢献をいたしました。また、世界中の従業員のボランティア活動時間は50%以上増加しました。これは、社会貢献には経済的な貢献と社員参加の両方が必要であるというTIの理念に沿ったものです。

より広い視点に立てば、より良いコミュニティを築き上げるには質の高い教育が不可欠である、と私たちは考えます。TIは2014年に、世界中の学生たちの教育機会拡大と、科学、技術、工学、数学分野の教育支援のため、特に女性と、不利な環境にある方たちに重点的に3,600万ドル以上の支援を行いました。

お客様と世界中の人々のための、革新的なソリューション

テクノロジーによって、世界的規模の課題は着実に解決されてきています。TIはその最前線に立ち、数多くのソリューションを提供しています。たとえば、TIのテクノロジーは、様々な領域で、効率的、創造的に使える、よりクリーンで低コストなエネルギーを生み出すのに役立っています。エネルギー関連に加え、TIは2005年から毎年、半導体チップを動かすために必要な消費電力を約7%低減することに成功しています。1つ1つの半導体製品における削減と、生産される製品の数を考えると、大変な違いを生み出していることがわかりいただけるでしょう。

2014年、私たちは人との関わり合いを深め、コミュニティを支援し、ソリューションの革新を進める取り組みを通して、TIをより良い会社にし、同時にTIの事業が環境へ与える影響を低減し、世界中の人々の暮らしを改善することに貢献いたしました。

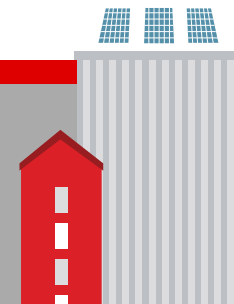


つまり、グローバル社会だけでなく弊社の未来にとっても欠かせない、より良い世界の実現に、テクノロジーで貢献するというTIの取り組みを、また1歩進めることができたのです。

リッチ テンプルトン

会長、社長兼CEO

[G4-1]



レポートの概要

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

テキサス・インスツルメンツ (TI) の第 9 期年次コーポレート・シティズンシップ・レポートをご覧くださいありがとうございます。

- ・ 各セクションのリンク (ページ左側) をクリックすると、コーポレート・シティズンシップへの取り組みと、それぞれが TI の従業員、お客様、サプライヤ、環境、コミュニティに与える影響について、包括的な概要が表示されます。
- ・ 個々の対象分野については [グローバル・レポート・インシアティブ \(GRI\) インデックス](#) をご利用ください。このレポート全体に、簡単に参照できるように GRI 指標が含まれています。【事例: G4-1】
- ・ このレポートの最後に、目標と比較した [進捗状況のサマリ](#) があります。

シティズンシップ

シティズンシップは、TI が社会、環境、および経済に与える世界的な影響について、その説明責任を果たすというコミットメントです。私たちは毎年、実績を振り返り、その結果から多くを学んでいます。TI は責任ある事業遂行を行います。TI の [シティズンシップの理念と慣行](#) については、TI シティズンシップ Web サイトをご覧ください。

レポートの範囲

TI の 2014 コーポレート・シティズンシップ・レポートは、2014 年度の社会的業績と環境的業績の包括的な概要を示すものです。

このレポートでは、「TI」、「弊社」、「私たち」などの用語は TI の事業運営を指し、区別せずに使用しています。通貨はすべて米ドルで表されます。

このレポートの記載は、別途記載の箇所を除き、TI と各国の TI の子会社の実績を含んでいます。環境保護に関するデータは、全製造拠点に加え、借地および自社所有の 50,000 平方フィート以上の非製造拠点のデータを含んでいます。対象としている拠点は、TI の全世界の拠点の 99% 以上を占めます。【G4-17】

TI は本レポートは、グローバル・レポート・インシアティブの、G4 サステナビリティ・レポート・ガイドラインの中核 (Core) レベルに準拠しました。

本レポートの主な内容については、関係者の意見を参考に TI のシティズンシップ実行委員会 (CEC) が決定しました。【G4-18】

レポート作成の一環として、TI は、競合ベンチマーキング調査、従業員への調査、ステークホルダーからの聞き取りを含む、評価を実施しました。この評価は、TI がステークホルダーにとって最も重要な環境、社会、ガバナンスの取り組みが何であるかを理解し、重点的に取り組む分野を判断するのに役立ちまし

た。GRI の定義によれば、会社外部の「要素的な面」には、コミュニティ、サプライ・チェーン、および製品の使用が含まれます。「[ステークホルダーとの関わり](#)」にある評価結果マトリクスをご覧ください。【G4-19】
【G4-20】 【G4-21】

レポートにおける重要な変更

2014 年、TI は開示ガイドラインとして、以前使用していた G3.1 に代わり、関連性の高い項目をより重視した GRI G4 を採用しました。その結果、以前報告されていた指標のうち、弊社にとって本質的でないと TI が判断したものは省略されています。【G4-23】

2014 年には以下のことを実施しました。

- ・ レポート作成とデータ収集プロセスの内部監査を完了しました。TI は一部のプロセスを見直し、提示するすべての情報の正確性と監査能力をさらに確実なものにする新しいプロセスを確立しました。【G4-33】
- ・ CEC を設立しました。CEC は部門を超えた経営陣で構成される委員会で、TI のシティズンシップ戦略と実績の監視を担当する上級リーダーによって任命されます。
- ・ 新メンバーの任命と憲章の修正によって、シティズンシップ・ステークホルダー・チームの強化を図りました。このチームは、社外の必要事項を特定し、実績とのギャップを解消し、CEC によるレビュー対象を推奨する責任を負います。

事業内容

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容

会社概要

ステークホルダーとの関わり

ガバナンス

政策提言

エシックス

人権

事業の継続性

・ 従業員

・ 製品

・ 環境

・ サプライ・チェーン

・ コミュニティ

・ 進捗状況のサマリ

・ GRI インデックス

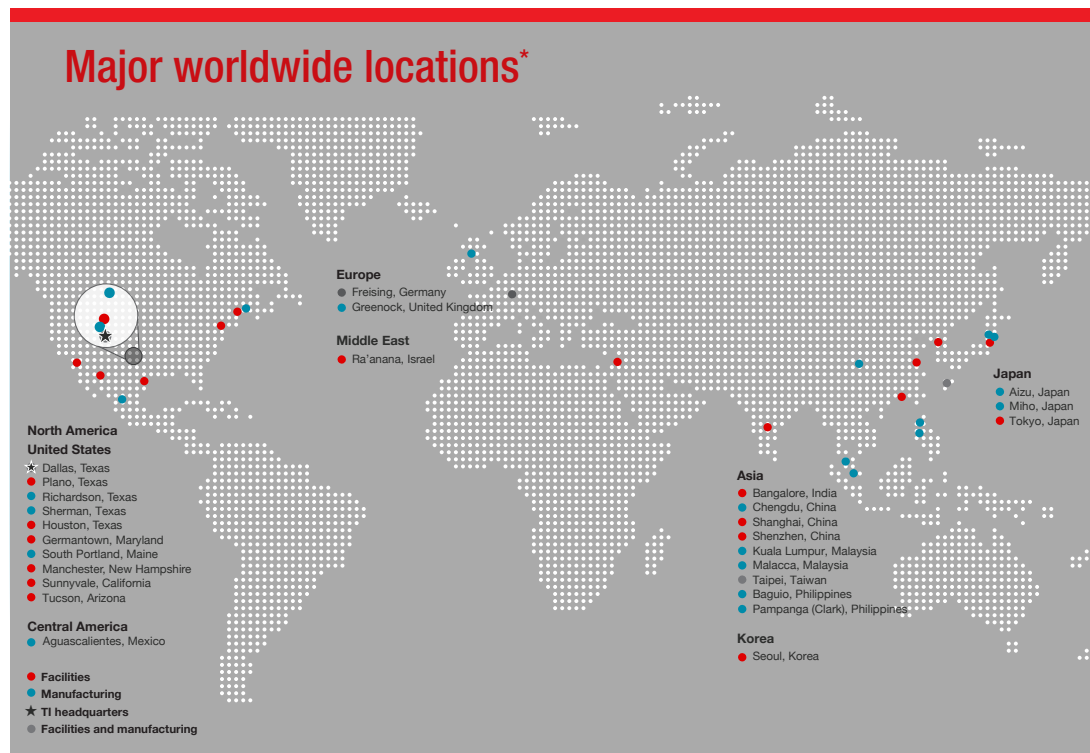
会社概要

テキサス・インスツルメンツ (Texas Instruments Inc.、NASDAQ: TXN) は、世界的な半導体企業です。

[G4-3] TI はアナログ及び組み込みプロセッシング半導体製品の設計および製造を行っています。[G4-4] 2014 年、TI は多くのアナログ製品や組み込みプロセッシング製品からなる幅広い製品ポートフォリオを提供し、100,000 社以上のお客様において製品をご採用いただきました。TI は、産業機器、車載機器、パーソナル・エレクトロニクス、通信用機器、エンタープライズ・システム、その他 (電卓を含む) の 6 つの市場で、全世界のお客様に製品を提供しています。

本社は米国テキサス州ダラスで、35 か国に設計、製造、または販売運営拠点を持っています。TI は米国デラウェア州法に基づいて法人として設立されています。TI の所有形態と法的手続きについては、TI の米国証券取引委員会 (SEC) フォーム [10-K](#) をご覧ください。[G4-7] [S07]

2014 年の TI の売上高は 130 億 5,000 万ドルでした。(TI の財務実績の詳細については、TI の [SEC フォーム 10-K](#) をご覧ください)



* TI has manufacturing, design and sales operations in 35 countries worldwide. For the purposes of this report, we define major locations (significant operations) as 1) all manufacturing facilities and 2) design and sales offices with employee populations greater than 100 as of Dec. 31, 2014.

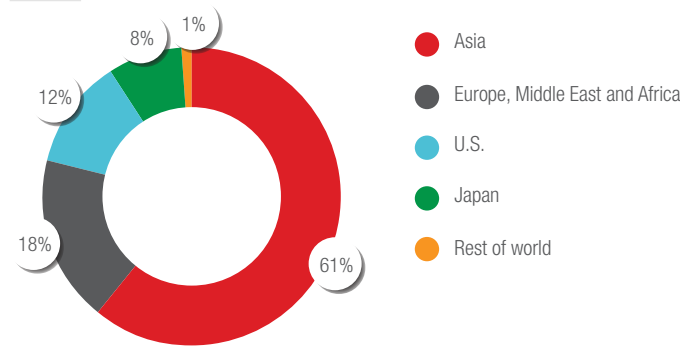
[G4-5] [G4-6] [G4-9]

会社概要

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ **会社概要**
- ・ ステークホルダーとの関わり
- ・ ガバナンス
- ・ 政策提言
- ・ エシックス
- ・ 人権
- ・ 事業の継続性
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

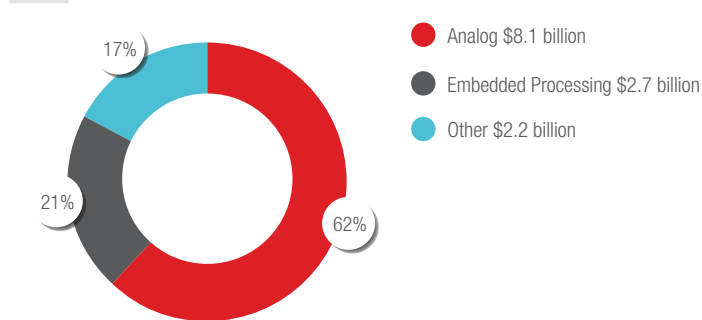
地域別売上高

[G4-8]



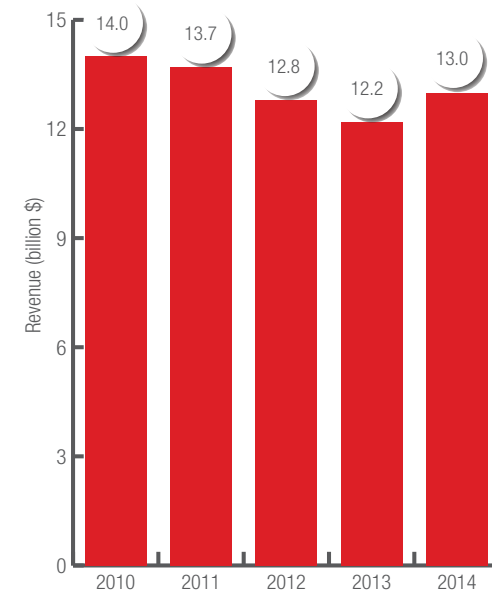
分野別売上高

[EC1]



TIは世界各地の連邦、州、および地方政府から税制上の優遇措置によるインセンティブを受けました。それらのインセンティブは、装置や設備、雇用、研究開発に投資している製造会社に一般的に提供されているものです。詳細については、TIの [SEC フォーム 10-K](#) をご覧ください。 [G4-EC4]

売上高の推移



TIは2014年1月、組込みプロセッシング、及び日本のオペレーションを対象とした、コスト削減のための取り組みを発表しました。これは、費用の削減と、持続的成長及び長期的な収益性の改善に貢献する市場に投資を集中させることを目的としたものです。この計画は2015年半ばまでには完了する予定です。コスト削減には世界中で約1,100名の人員整理も含まれます。

また、老朽化によって効率改善が見込めない2か所の拠点を閉鎖し、製造を統合しました。これにより、エネルギーと水の使用量を削減しました。 [G4-13]

会社概要

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容

会社概要

ステークホルダーとの関わり

ガバナンス

政策提言

エシックス

人権

事業の継続性

- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

2014年の主なできごと

TIのCEOは、従業員とその可能性を常に信頼しています。2014年、TIは、世界中の従業員の努力によって、以下の業績を残すことができました。[EC1]

- ・ 着実な企業成長と大きな利益
- ・ 着実なキャッシュ
- ・ 自社株買いと配当による株主への還元

評価

2014年、TIの倫理的慣習とシティズンシップに対する取り組みは、広く評価されました。以下にその一部を示します。

- ・ エシスフィア・インスティテュートの「世界で最も倫理的な企業」(8年連続)
- ・ CRマガジンの「100ベスト・コーポレート・シティズンズ」(12年目)
- ・ CRマガジンの「10ベスト・コーポレート・シティズンズ」、IT部門(4年連続)
- ・ ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス、2014年北米部門(8年目)



供給責任と業務の拡大

2014年11月、TIは中国の成都にアセンブリ/テスト施設を開設し、300mm ウェハー・バンブ施設で製造キャパシティを拡大することを発表しました。7月にはテキサス州シュガーランドにも新しい施設(ヒューストン近郊)を開設しました。この3階建て、160,000平方フィートのビルでは、375人の従業員が組み組みプロセッシングの業務に従事します。私たちの新しい拠点は、お客様のニーズを満たし、イノベーションを継続し、地域コミュニティを強化するというTIの将来の成功に欠かせないものです。



ステークホルダーとの関わり

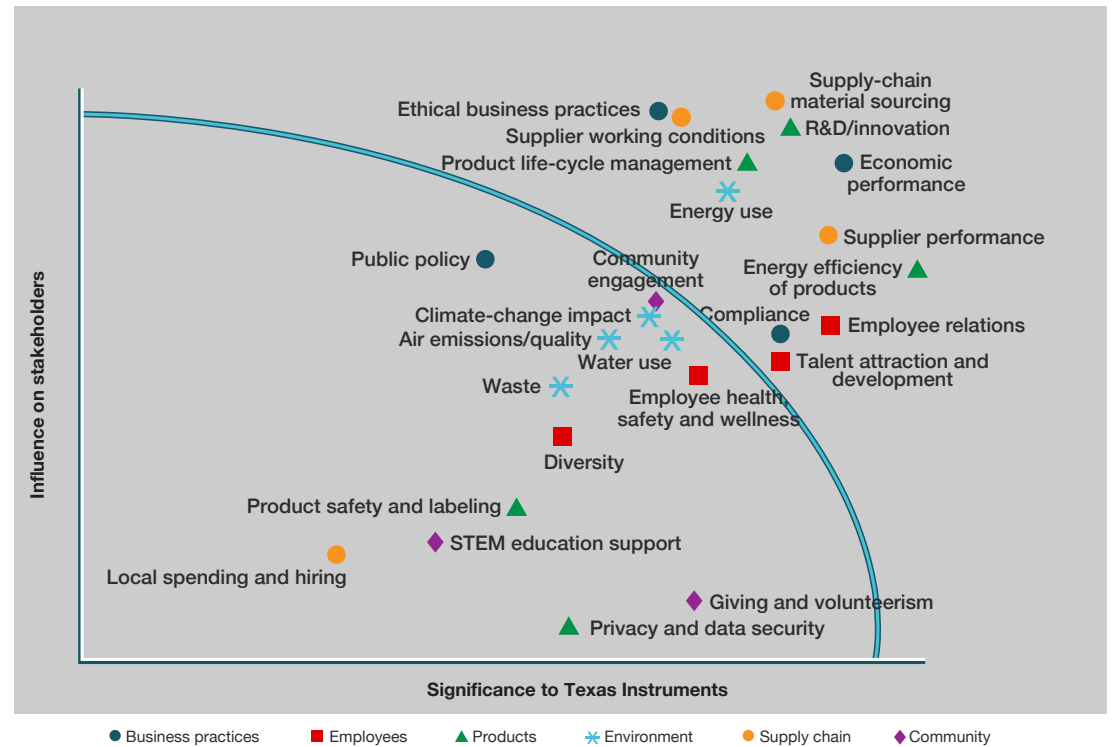
- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
 - 会社概要
 - ステークホルダーとの関わり
 - ガバナンス
 - 政策提言
 - エシックス
 - 人権
 - 事業の継続性
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

TI は年間を通じて、定期的に社内外のステークホルダーに働きかける機会を持っています。また、レポートを作るプロセスの一環として、ステークホルダー評価を実施しました。[G4-26]

TI のステークホルダーには、従業員、お客様、株主、TI の拠点があるコミュニティ、研究機関、公務員、業界団体、監督機関、非政府組織、メディア、アナリスト、サプライヤ、請負業者、TI の退職者、および将来の従業員が含まれます。
[G4-24] [G4-25]

2014 年、TI のステークホルダーにとって最も重要な環境、社会、ガバナンスのテーマを特定し深く理解するために、TI は初めて正式な外部団体による評価を実施しました。評価では従業員への調査結果、社外のステークホルダーと社内のリーダーへの聞き取り、業界トレンドと持続可能性のトレンドをまとめました。この評価によって、TI は最重要課題における透明性をより高めるために必要な活動と、そのためのリソースを適正に組み合わせることができました。[G4-27]

関連性の高い機会マトリクス



*この表は、評価で特定された最上位の分野やテーマを示しています。これらを「関連性の高い機会」と呼んでいます。

ステークホルダーとの関わり

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- 会社概要**
- ステークホルダーとの関わり**
- ガバナンス**
- 政策提言**
- エシックス**
- 人権**
- 事業の継続性**
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

TIは特定した最上位の分野にすでに積極的に取り組んでいます。今後も引き続きそれぞれの状況を注視し、解決していきます。

各ステークホルダーが提示したテーマ

	従業員	お客様	投資家	コミュニティ・メンバー	サプライヤ	業界団体	メディア
関連性の高いテーマ							
業績	X	X	X	X		X	X
サプライ・チェーンにおける材料調達	X	X	X		X	X	X
製品の低消費電力化	X	X	X	X	X	X	X
イノベーション	X	X	X	X	X	X	X
製品ライフ・サイクルの管理		X	X		X	X	
従業員の採用、雇用継続、育成	X		X	X		X	X
サプライヤのサステナビリティ評価		X	X		X	X	
サプライヤにおける労働環境		X			X	X	X
エシックス	X	X	X	X	X	X	

[G4-27]

ステークホルダーとの関わり

・ 最高経営責任者から
のご挨拶

・ レポートの概要

・ 事業内容

会社概要

ステークホルダーと
の関わり

ガバナンス

政策提言

エシックス

人権

事業の継続性

・ 従業員

・ 製品

・ 環境

・ サプライ・チェーン

・ コミュニティ

・ 進捗状況のサマリ

・ GRI インデックス

2014年、TIは、情報を迅速に提供し、TIのすべてのステークホルダーがTIのプログラム、ポリシー、慣行について簡単に知ることができるように、[TI コーポレート・シティズンシップ Web サイト](#)と[ブログ](#)を立ち上げました。Web サイトでは、教育およびグローバル・コミュニティに向けたTIのコミットメントについて、追加情報も提供します。また、TIのブログ [Think, Innovate](#) では、TIと半導体業界に関連する様々な課題について、戦略的なコンテンツを提供します。どちらのブログもTIのお客様向けの情報交換サイトE2E™ コミュニティで公開されます。

以下に、各ステークホルダー・グループとの関わりを強化するための取り組み、話し合ったテーマ、その対処方法に関して、具体例を示します。

従業員

- ・ マネージャに対し、年に1回は必ず、従業員と業務目標や成長機会、能力開発機会について話し合うよう指導が行われました。「[能力開発については](#)」を参照してください。
- ・ タウンホールミーティングやビデオ・ブログ、ラウンドテーブルなど、年間を通してリーダーと従業員が参加するさまざまな機会を作り、会社の優先事項、ビジネス状況や、実績、社員が求められているもの(エシックスおよびコンプライアンスを含む)について率直な意見交換をしました。
- ・ 世界各地の従業員の代表からなるアドバイザリ

パネルを通じて、社内ニュース利用方法から製品テスト、会社のコア・バリューといったさまざまな問題について調査を実施しました(2014年は6回)。そこで得られたフィードバックは、社内ニュースの改革に役立てたり、TIが重要な問題にうまく対処できているかをより深く探るために活用されました。

株主

- ・ 重要なガバナンス、経営陣の報酬、実績に関し、投資家やアナリストと率直な話し合いを行いました。

お客様

- ・ 環境、安全、健康(ESH)チームを再編し、TIの社会的実績と環境の実績について増加しているお客様からのお問い合わせと監査請求への対応を強化しました。

・ TIのカスタマ・エキスパート・アドバイザリ・パネルを見直しました。様々な要望を適切に反映するように地域、アプリケーション分野、エンジニア・タイプからメンバーを募りました。このパネルは、製品固有のテクニカル・サポートと顧客満足度調査を推進しています。

・ TIの世界各地のカスタマ・サポート・センターでは、電話、Eメール、チャットを使い、TI製品に関してご質問いただいた多くのお客様をサポートいたしました。

・ 2014年にElectronic Industry Citizenship Coalition (EICC) 認定の3回の監査をサポートしました。これにより、EICCを通して監査を請求するEICCメンバーのお客様に対し、TIの工場の実績に関する詳しい情報を迅速に提供することが可能になりました。監査では大きな不適合は見つかりませんでした。この情報は19のお客様と共有されました。

サプライヤ

- ・ 主要なサプライヤが、それぞれの施設における環境や社会的責任に対する取り組みを報告できるよう、サプライヤとの協力を開始しました。

ステークホルダーとの関わり

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容

会社概要

ステークホルダーとの関わり

ガバナンス

政策提言

エシックス

人権

事業の継続性

- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

- ・ 材料にスズ、タンタル、タングステン、金が含まれるサプライヤと協力して、TI のサプライ・チェーンに含まれる精錬所を特定しました。「[サプライヤのサステナビリティに関する実績](#)」をご覧ください。
- ・ 米国テキサス州ダラスの商工会議所と連携し、マイノリティおよび女性所有の企業の利用を推進しました。「[サプライヤの多様性](#)」をご覧ください。

教育機関

- ・ 教育専門家、4 年制教育機関、高校教師、非営利団体と協力して、より多くの生徒が科学、技術、工学、および数学 (STEM) を学習し、卒業できるよう、STEM 教育指導の改善を支援しました。
- ・ プログラム作成やイベントに関して教育界の指導者および大学の工学部と協力し、新卒学生の就職に関する宣伝活動を行いました。「[人材](#)」をご覧ください。

業界団体および議員

- ・ 米国半導体工業会や Information Technology Industry Council などとの協力を継続し、公正な取引と競争を推進するための多数の優先政策事項を前進させました。「[公的政策](#)」をご覧ください。

ださい。

- ・ 米国の議員と TI との関わりについては、TI の [公的政策](#) に関する Web サイトをご覧ください。

コミュニティ

- ・ 地域住民、慈善団体、市民団体との協力を継続し、TI 従業員が居住、勤務している地域における教育の改善と、その他の重要な社会問題への対処を進めました。[コミュニティ](#)をご覧ください。

本レポートのその他のセクションでは、TI の 2015 年の計画の概要を記載しています。



イノベーションの促進

私たちは、いくつかの拠点に従業員の技術向上を紹介するイノベーション・センターを設置しました。イノベーション・センターには、さまざまな製品のイノベーションについてデジタル・メッセージやビデオを流しています。TI のテクノロジーがどのように使われ、私たちの生活にどのように影響するかを従業員、来客者、お客様、取締役会メンバー、および将来の従業員に紹介するものです。また、オンライン・イノベーション・センターでもコンテンツを世界中に発信しています。

ガバナンス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
 - 会社概要
 - ステークホルダーとの関わり
 - ガバナンス
 - 政策提言
 - エシックス
 - 人権
 - 事業の継続性
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

TI のガバナンス機構は、企業の意思決定と管理が適切に機能するよう意図されています。当社のリーダーは、世界のあらゆる地域において倫理なビジネスが行われるよう支援、促進する責任を負っています。

取締役会のメンバー 11 名は豊富な経験を持ち、多様な背景と専門的知識を備えています。最高経営責任者を含む執行役、最高財務責任者、ビジネス部門の責任者、および最高法令順守責任者は取締役会が選出します。

TI には、監査、報酬、ガバナンスと株主向け広報の 3 つの取締役会委員会があります。各委員会は少なくとも 1 年に 1 回、TI のシティズンシップ・プログラムのさまざまな面について最新情報の報告を受けています。[\[G4-34\]](#)

各委員会の詳細については、TI の [ガバナンスに関する Web サイト](#) をご覧ください。

ガバナンスの状況	2014
取締役会人数	11
取締役会制度	単層型
独立取締役	91%
女性取締役	36%
取締役会の年齢制限	70
年齢別および男女別の取締役会の内訳	ガバナンス組織の構成
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の取締役会開催回数 ・ 監査委員会会合 ・ 取締役会メンバーの出席率 (%) ・ 取締役会任期 (年) ・ 最高経営責任者の報酬合計 ・ 取締役会メンバー平均報酬の固定部分 (%) ・ 変動/実績ベース (%) ・ オプションに基づく報酬 	TI 株主総会招集通知
株主総会招集通知において法的手続きの開示が必要な取締役候補人数	なし
<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員報酬コンサルタントに支払った報酬 ・ 現在の監査人の雇用年数 	TI 株主総会招集通知
政府に支払った税金額	SEC フォーム 10-K
持続可能性/環境、安全、および健康/CSR (企業の社会的責任) の問題に専門に対処する取締役会委員会があるか	ガバナンスと株主向け広報
<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員報酬の株主承認 (say on pay) 条項 (非拘束的決議を含む) を採用しているか ・ 内規/定款に白紙委任優先株式の授権が含まれているか ・ 社外役員報酬アドバイザーを任命しているか ・ 監査役は最近の株主総会で承認されているか 	はい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会の期差選任制を採用しているか ・ 議決権の異なるデュアル/マルチ・シェア・クラスを採用しているか (役員/取締役/従業員向けの優先株、無議決権株を除く) ・ 議決権の異なるデュアル/マルチ・シェア・クラスを採用しているか (優先株を含むが、役員/取締役/従業員向けの無議決権株を除く) ・ 国連の責任投資原則に署名しているか ・ 役員報酬は環境、社会、ガバナンスの目標と連動しているか ・ 取締役会メンバーの報酬は環境、社会、ガバナンスの目標と連動しているか 	いいえ

ガバナンス

・ 最高経営責任者から
のご挨拶

・ レポートの概要

・ 事業内容

会社概要

ステークホルダーと
の関わり

ガバナンス

政策提言

エシックス

人権

事業の継続性

・ 従業員

・ 製品

・ 環境

・ サプライ・チェーン

・ コミュニティ

・ 進捗状況のサマリ

・ GRI インデックス

シティズンシップ

TI のシティズンシップに関する取り組みは TI のシニア・リーダーが監督します。TI のシティズンシップの実績やその関連活動を管理する 2 つのチーム、シティズンシップ実行委員会 (CEC) とシティズンシップ・ステークホルダー・チーム (CST) のメンバーは、それぞれシニア・マネージャーによって任命されます。

CEC は以下の目的のために 2014 年末に設立されました。

- ・ 全体的な戦略の方向性を提示し、承認します。
- ・ TI 全体のシティズンシップの透明性と報告のトーン/方向性を設定します。
- ・ 長期的な目標など、経営陣のために、戦略的な取り組みに関する推奨内容をレビューします。
- ・ 取り組みを実施するにあたり、そのためのリソース (予算、人日) を推奨、承認します。
- ・ CST のメンバーとコーポレート・シティズンシップ・レポートのセクション/目標の責任者を承認します。

CST の目的

- ・ それぞれの業務部門を代表し、部門を超えた協力と理解を促進します。
- ・ 社外において必要なこと、実績とのギャップ、透明性の要件に対応するために CEC に対して推奨事項を提示します。
- ・ 社外の成果と競合状況を確認し、常に最新情報を入手します。

2014 年、TI はプロセスを更新して管理チェックポイントを増やし、記録保持ポリシーも更新しました。また、定期的な社内監査を制度化しました。

ベスト・コーポレート・シティズン



2014 年 4 月、TI は再度、CR マガジンの第 15 回「100 ベスト・コーポレート・シティズンズ」リストで 世界のベスト・コーポレート・シティズン 100 社に選出 されました。順位は昨年の 38 位から 31 位に上がりました。TI が選ばれるのはこれで 12 回目になります。TI の最高シティズンシップ責任者、トリシャ・カニンガムは、「TI はこの評判のリストに選出されたことを誇らしく思います。この賞は、弊社と弊社従業員が取り組んでいる高い倫理基準、環境に対する責任、社会に対する良い影響を反映したものです。自主的な開示において前進できたことは私たちの誇りですが、継続的な改善を実現するためにステークホルダーと緊密に連携してニーズを理解していきます」と語っています。「100 ベスト・コーポレート・シティズンズ」リストは、環境、気候変動、従業員との関係、人権、ガバナンス、財務、慈善活動の 7 つの分野で優れた実績を持つ公開企業を評価するものです。

政策提言

- 最高経営責任者からのご挨拶

- レポートの概要

- 事業内容

- 会社概要

- ステークホルダーとの関わり

- ガバナンス

- 政策提言

- エシックス

- 人権

- 事業の継続性

- 従業員

- 製品

- 環境

- サプライ・チェーン

- コミュニティ

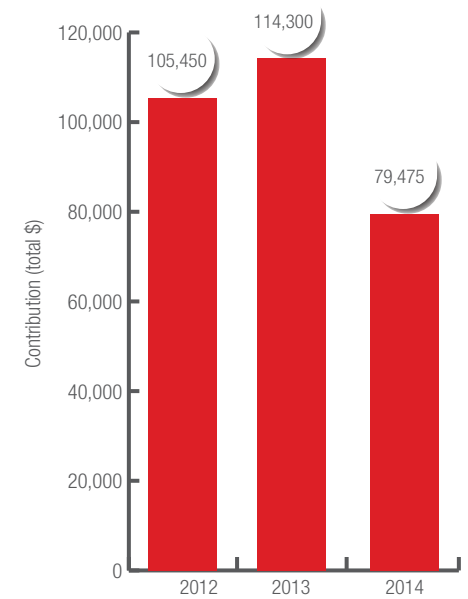
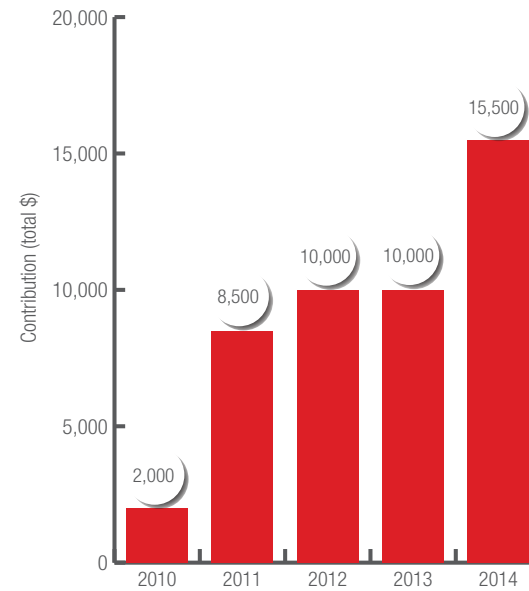
- 進捗状況のサマリ

- GRI インデックス

TIは成長、イノベーション、および競争力をサポートするポリシーを掲げています。私たちはTI、半導体業界、ビジネス全般に影響する重要な課題について議員を教育し、働きかけをしています。TIの政治活動は、取締役会のガバナンスと株主向け広報委員会が監督しています。

献金

TIは米国で行っている政治献金をオープンにしています(TIは米国以外の国では政治献金をしていません)。2014年にTIは政治献金として15,500ドルを献金しました。2014年、TIの政治行動委員会(PAC)は、連邦、州、および地方のさまざまな候補者の応援に79,475ドルを支出しました。[SO6]



政策提言

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容

会社概要

ステークホルダーとの関わり

ガバナンス

政策提言

エシックス

人権

事業の継続性

- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

メンバーシップ

TIは複数の業界団体に参加しており、米国半導体工業会、Information Technology Industry Council、テキサス州やメイン州のさまざまな団体 (Texas Association of Manufacturers、Portland Regional Chamber of Commerce など) で指導的な役割を果たしています。[G4-16]

また、TIはその他のグループや団体との提携を通して、成長を加速し競争力を高め、従業員とコミュニティを支援する政策を推進しています。私たちは業界団体の会費として支出した金額の総計とロビー活動に関わる会費を開示しています。

2014年、TIは合計1,684,035ドルを会費として**会員制団体**に支払いました。それらの団体は会費、ロビー活動への参加、またはその両方として5,000ドル以上を受け取りました。ロビー活動や政治活動に使われたそれらの会費のうち、米国の内国歳入法第162(e)(1)項に基づき控除の対象とならない金額の合計は384,921ドルでした。

貿易を通じたイノベーションの推進

2014年、TIはさまざまなハイテク製品にかかる関税を撤廃する多国間協定、1997年成立の情報技術協定 (ITA) の拡大交渉締結を支持する活動を大きく前進させました。ITAの拡大により、世界の半導体市場でシェアを拡大しているマルチコンポーネント半導体 (MCO) など、半導体製品の関税撤廃対象品目が拡大します。米国半導体工業会の推計では、MCOがITAの対象に含まれば、全世界で1年間に節約できる関税額は業界全体で1億5,000万ドルから3億ドルに達すると予想しています。

また、ITAの拡大により、医療用デバイスやGPSシステム、ゲーム・コンソールなど、チップを利用するさまざまな最終製品の関税が下がります。

「貿易障壁を引き下げることで当社の革新と成長も促進されますが、さらに重要な点は、世界経済の拡大につながるということです」とTIの会長、社長兼最高経営責任者リッチ・テンブルトンは述べています。

私たちは2015年にこの協定が締結されることを期待しています。

政策課題

2014年に私たちが注目したのは、TI、TIの事業運営、およびTIが持続可能で競争力のある方法でイノベーションと成長を達成する能力に影響するさまざまな問題です。私たちの活動は、国際貿易の拡大、移民制度改革、税務政策、知的財産の保護、エネルギー効率、教育と研究などの問題や、健全な環境政策とエネルギー政策に力を入れました。



2015年もTIは引き続き

世界各地、特に弊社が事業を展開している国々で議員と新しい関係を築き、現在の関係を深めていきます。

2015年のTIの優先政策事項の詳細と支出の概要については、TIの**公的政策**に関するWebサイトをご覧ください。

エシックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容

会社概要

ステークホルダーとの関わり

ガバナンス

政策提言

エシックス

人権

事業の継続性

- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

TI の価値である誠実、革新、コミットメントを基準として、私たちは自らの決定や行動がどうあるべきか、また、業務をどのように遂行するべきかを決めます。これらの価値基準は TI の従業員にとって重要な要素であり、1930 年の会社発足以来、創設者の行動とその理念の実践にあたって数十年にわたる基準になってきたものです。[G4-56]

私たちは 2014 年に TI 従業員の行動規範を見直し、2015 年始めに発表しました。改訂した行動規範は e-book (電子書籍) の形式になっており、インタラクティブなリンクや、質問が多い倫理的な矛盾などに関する Q&A が含まれています。

さまざまな産業における標準化団体や、国際化に関する標準化団体は、企業もしくはその他の組織における環境、社会、ガバナンスに関する取り組みについて、評価をしようとしています。現在、TI はいくつかのスタンダードに賛同していますが、特定のものを優先的に支持しているものではありません。2014 年、TI は Electronic Industry Citizenship Coalition (EICC) の正会員になりました。詳細については、TI シティズンシップ Web サイトの自主基準に関するセクションをご覧ください。[G4-15]

TI は毎年、取締役会の監査委員会、TI の内部エシックスおよびコンプライアンス委員会、TI のリーダーシップ・チームに報告を行っています。TI では、上級管理職がエシックスを推進しており、上級管理職が自らの各組織においてエシックスを推進するためにツールが用意されています。

従業員の参画

各従業員は毎年、エシックスとコンプライアンスのトレーニングを受ける必要があります。2014 年には、ほぼすべての従業員が、エシックス、汚職防止、人権などの問題を扱ったコンプライアンスのトレーニングを受講しました。[HR2] [HR7] [SO4]

また、TI は 3 年ごとにハラスメントに関するトレーニングを実施しており、この問題に対する意識づけと問題が起きた際の対処が正しく、確実に行われるようにしています。[SO3] [SO5]

さらに、エシックスとコンプライアンスに関し、定期的な話題を提供し、社員の意識を高め、理解を深めるよう務めています。

当社では、12 種類の連絡手段を設け、従業員、サプライヤ、その他のステークホルダーはこれらを使って TI のエシックス・オフィスに連絡することができます。従業員へは、ダラスにある TI のエシックス・オフィスに連絡するよう促し、その際には秘密が守られ、また報復がないことを伝えています。

TI は 2014 年、法規制への違反に対する重大な罰金、およびそれ以外の制裁措置を受けていません。[SO7] [SO8]



2015 年も TI は責任ある商慣習トレーニングを続けていきます。

- ・ 全従業員
 - » TI の行動規範と価値
 - » 秘密情報の保護
- ・ 関係のある従業員
 - » 環境、安全、および健康 (ESH)
 - » 不正行為の防止
 - » 輸出のコンプライアンス
- ・ 製造および調達を担当する従業員
 - » EICC 行動規範
- ・ CEC と CST のメンバー
 - » TI のシティズンシップの取り組みを管理し前進させるための役割と責任
- ・ ベンダ
 - » TI のサプライヤ行動規範

エシックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
 - 会社概要
 - ステークホルダーとの関わり
 - ガバナンス
 - 政策提言
 - エシックス
 - 人権
 - 事業の継続性
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス



2014 **WORLD'S MOST ETHICAL COMPANIES**
WWW.ETHISPHERE.COM

最も倫理的な企業

2014年3月、Ethisphere Institute はテキサス・インスツルメンツを「世界で最も倫理的な企業2014」に8年連続で選出しました。このリストは、倫理的なリーダーシップと企業行動の基準を継続的に引き上げている組織を評価するものです。TIは今年エレクトロニクス・カテゴリで受賞したわずか5社のうちの1社でした。

「私たちは、TIが倫理的、合法的に事業を運営できることを私たちの資産と見なしています。私たちが開発し市場に展開するテクノロジーと同じくらい欠かせない資産です」とTIのエシックス・ディレクター、デビッド・ソロモンは述べています。「私たちは、最高の倫理的基準に沿った誠実さを業務のあらゆる面に適用し、お客様、サプライヤ、投資家、従業員、TIの拠点があるコミュニティに対する敬意を表しています。」

人権

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容

会社概要

ステークホルダーとの関わり

ガバナンス

政策提言

エシックス

人権

事業の継続性

- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

人権

TIにとって従業員の人権を守ることは大切なことであり、人権に対する私たちの関心は、TIのみならず、全サプライ・チェーンに及んでいます。世界各地で活動するTIの全従業員には、常に、各国の法で認められている結社の自由や団体交渉の権利が認められています。[G4-11]

2014年、TIは3か所の製造施設で人権の監査を実施し、重大な違反は見つかりませんでした。また、TIの全製造拠点においてEICCの自己評価アンケートを実施しました。このアンケートでは人権に関する評価も重視しており、希望するお客様には結果を報告しています。[HR9]

私たちは、新しいサプライヤと取引を始める際に、安全で人道的、倫理的な労働慣行に向けたTIの基準と期待について、サプライヤに説明を行います。TIでサプライ・チェーンを管理しているチームは、TIが求めるエシックスおよび価値といった基準をサプライヤが満たしていない場合は、問題解決のための支援を提供します。サプライヤは、TIのエシックス・オフィスに連絡し、匿名で質問したり問題について話し合ったりすることもできます。TIのポリシーと慣行の詳細については、「[サプライヤのサステナビリティに関する評価](#)」をご覧ください。

2014年、TIには人権、先住民の権利、または汚職に関する苦情はありませんでした。[HR8] [HR12]



2015年、私たちは新しく改訂した行動規範を使用し、引き続きサプライヤ行動規範を活用して、当社と当社のサプライ・チェーンの人権リスクを評価および管理する予定です。



事業の継続性

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容

会社概要

ステークホルダーとの関わり

ガバナンス

政策提言

エシックス

人権

事業の継続性

- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

TI の事業継続性プログラ(BCP)は、リスクを特定して潜在的な業務への影響に備え、TI の事業やサプライ・チェーンの停止を最小化または防止することを目的としています。TI は、事業継続性を確保しTI の売上と評判を守ること、お客様から信頼を勝ち得ること、事業の中断を最小限にするよう適切に備えていること、を投資家やその他のステークホルダーに理解いただけるよう、務めています。TI の取り組みについては、TI シティズンシップ Web サイトの[事業の継続性](#)に関するセクションをご覧ください。

TI は、各拠点やサプライ・チェーンで、生産や供給に影響を与えるような地震、異常気象、水害などのリスクを監視しています。より入念なリスク評価を2年ごとに実施しています。また新しい生産施設などによって、再評価が必要となった場合にも実施しています。この評価プロセスには、すでにある設備等の管理(臨時の発電など)や追加の設備等の必要性の判断が含まれます。米国テキサス州と中国にある TI の施設は、長引く干ばつの影響を受ける可能性が高まっています。また、米国テキサス州、アジア、および日本にある TI の施設はハリケーン、竜巻、台風の影響を受けやすくなっています。詳細については、「[気候変動](#)」および「[水利用](#)」をご覧ください。[EC2]

2014 年、TI のアセンブリ/テスト拠点で予定されていたトレーニングと訓練を完了しました。さらにサプライ・チェーンの対応計画の強化、サプライヤとの協力によって、原材料と部材に関するリスクを低減しました。

2015 年にはさらに、「Readiness 2 Recover」という新しい活動によって厳格な指標を導入し、危機管理および事業継続性プログラムを改良/改善する予定です。これにより、TI の事業継続性プログラムの効果とコンプライアンスを測定し、さらに改善を図る予定です。

プライバシーとデータの保護

TI がビジネスを展開するに当たり、お客様や自社の機密情報を保護することは非常に重要です。TI の従業員は、そのポリシーによって、TI と TI のお客様の機密情報を適切に扱い保護することが求められています。TI の従業員は、定期的に機密情報保護トレーニングを受けています。また、データと情報システムに対する何らかの保護策を実施し、お客様のデータとプライバシーを保護しています。[G4-PR8]

従業員



・ 最高経営責任者から
のご挨拶

・ レポートの概要

・ 事業内容

・ 従業員

概要

採用活動

雇用の継続

- 安全

- 健康

- 仕事と生活の
バランス

- 給与と福利厚生

能力開発

多様性

・ 製品

・ 環境

・ サプライ・チェーン

・ コミュニティ

・ 進捗状況のサマリ

・ GRI インデックス

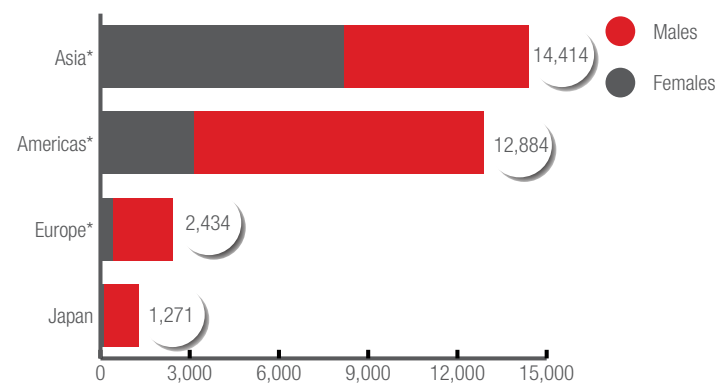
概要

TIには31,000人の従業員がいます。TIの従業員は、イノベーションを推進し、より良い未来を作り上げるために中心的な役割を果たしています。TIの将来は、素晴らしい人材を採用し、仕事を続けてもらうことにかかっています。しかし、この業界全体で、科学、技術、工学、および数学 (STEM) の知識を持った人材の不足に直面しています。そのため、TIは、社内の人材開発の取り組み以外にも、TIの拠点がある**コミュニティの教育**を援助し、将来のTIを支える人材の育成に努力しています。

全世界の従業員

TIは2014年も引き続き、最も優秀な人材の雇用と雇用維持に力を入れました。私たちは、従業員、特に日々のオペレーションを担う社員を現地採用し、その後、より高度な職務や上位の職務に向けてトレーニングするという方針を取っています。主要拠点では、地域からのマネージャ採用が多くなっています。全世界を見ると、TIのマネージャの98.7%が自身の働く地域の出身者で占められています。[EC6]

地域別、男女別の労働力



As of Dec. 31, 2014, we had 31,003 employees.

*Gender breakdowns for these regions are approximations; however, the combined employee population totals are accurate. Employment contract is not relevant for TI and is not included.

[G4-9] [G4-10]

概要

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員

概要

採用活動

雇用の継続

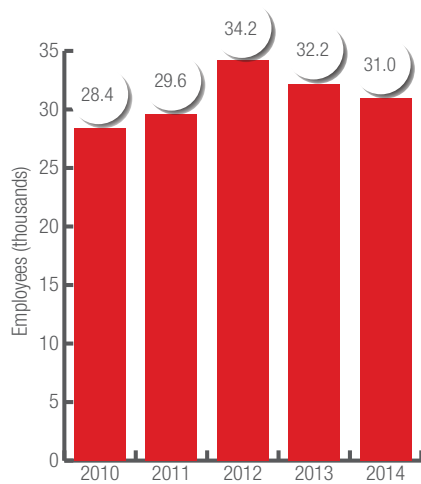
- 安全
- 健康
- 仕事と生活のバランス
- 給与と福利厚生

能力開発

多様性

- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

従業員数



The 2011 total does not include former National Semiconductor employees. TI retained approximately 5,300 National Semiconductor employees following its acquisition of the company in 2011.

リスクと機会

TI 内の各組織は、現在および将来における重要な人材ニーズを満たすための計画を策定し、適宜見直しています。この計画には、スキル・セット計画（従業員が必要とするスキル）、雇用計画、および重要な役割（上級リーダーシップの職位など）のために人材を準備する計画が含まれます。これらの計画により、TI は雇用のリスクと機会に対処できます。

TI は 2014 年も引き続き、他社と比較し遜色のない給与、専門的能力開発と育成の機会、多様性を尊重する職場、柔軟な業務負担などに取り組みました。人事制度に関する取り組みによって、TI は業界でもトップレベルの社員 定着率 を達成しています。

評価

2014 年、TI が実施した雇用や職場改善に関する様々な取り組みは、外部機関から高い評価を得を得ました。以下にその一部を紹介します。

- ・ フォーチュン誌の「世界で最も賞賛される企業」
- ・ 2020 年までに女性重役の比率を 20% 以上にすることを求める団体、2020 Women on Boards の「ウィニング 'W' カンパニー」
- ・ ワーク・ライフ・バランス推進同盟の「ワーク・ライフ・シール・オブ・ディステインクション」(3 年連続)

- ・ Black EOE Journal の「LGBT にやさしい企業」
- ・ CareerBliss の「全米で最も幸せな会社 50 社」(合計で 3 回目)
- ・ Glassdoor の「従業員が選ぶベスト企業」、「最高の職場 50 社」部門
- ・ ヒューマン・ライツ・キャンペーン財団の「LGBT の平等という観点から最も働きやすい職場」(11 年目)
- ・ マイノリティ・エンジニア誌の「トップ 50 社」(3 年連続)
- ・ 全米女性企業家協会の「女性重役に最も適した米国企業」(9 年連続)
- ・ Professional Woman's Magazine の「最も多様性に富む企業」
- ・ Universum の工学系大学生に聞いた「トップ 100 社」(2 年連続)

採用活動

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員

概要

採用活動

雇用の継続

- 安全
- 健康
- 仕事と生活のバランス
- 給与と福利厚生

能力開発

多様性

- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライチェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

エンジニアなくしてTIのビジネスはなりたちません。有能なエンジニアを採用することは現在、そして将来のTIの事業にとって非常に重要です。TIは大学と積極的に連携するとともに、TIの拠点がある地域の教育を支援し、将来のエンジニアを育てる活動を支援しています。TIは世界各地と米国で、特に科学、技術、工学、および数学(STEM)教育を支援しています。

2014年には、米国の50以上の大学と、全世界のTIの主要拠点に近接する大学の学生に、採用のアプローチを行いました。私たちは、エンジニアリングがいかにしてより良い世界に貢献できるのかを語り、TIイノベーション・デイを主催して学生たちと対話する機会を作り、キャリア・トレーニング・プログラムも立ち上げました。米国ではさまざまな学生の団体のイベントを後援するとともに、社員が大学でブランド・アンバサダーとして活動するためのツール・キットを作りました。また、米国黒人技術者協会(NSBE)、Society of Women Engineers(SWE)、Society of Hispanic Engineers(SHPE)、Recruit-Military、Career Opportunities for Students with Disabilities(COSD)、Out for Workなどの全国的組織と連携し、歴史的に不利な環境にあるグループへの働きかけを強化しました。

2014年にTIは全拠点、全職種の合計で3,000人以上の従業員を雇用しました。TIの雇用慣行については、TIの[キャリア](#) Webサイトをご覧ください。[LA1]



2015年の計画は以下のとおりです。

- ・ 引き続き、世界各地で工学系の新卒学生を積極的に採用します。
- ・ TIのアジア事業でインターンシップ・プログラムを拡大します。
- ・ 優秀な従業員の採用と雇用維持の取り組みを継続します。

TIイノベーション・チャレンジ

TIは、工学専攻の学生がやりがいのある仕事に向けて即戦力性を備えられるよう取り組んでいます。2014年には7年目となるTIイノベーション・チャレンジを開催しました。これは、向上心に燃えるエンジニアによる発明プロジェクトを紹介するコンテストです。コンテストには米国、プエルトリコ、メキシコ、カナダの認定工科大学120校から、工学系の学生810人以上が参加しました。最終選考に残った上位3人が、2日間にわたり、自分のプロジェクトについてTIの会長、社長兼最高経営責任者リッチ・テンプレトンにプレゼンテーションをしました。優勝したのはオハイオ州立大学の学生で、レース用の電動バイク向けに改良されたバッテリー・インターフェイス・モジュールを作成するプロジェクトでした。

雇用の継続

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員

概要

採用活動

雇用の継続

- 安全
- 健康
- 仕事と生活のバランス
- 給与と福利厚生

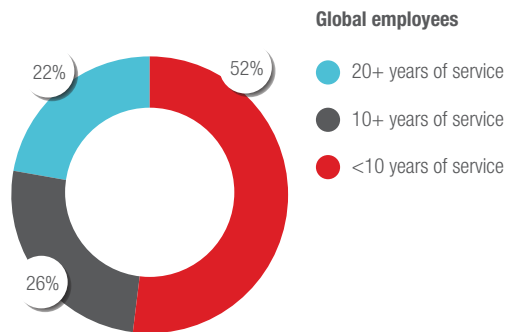
能力開発

多様性

- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

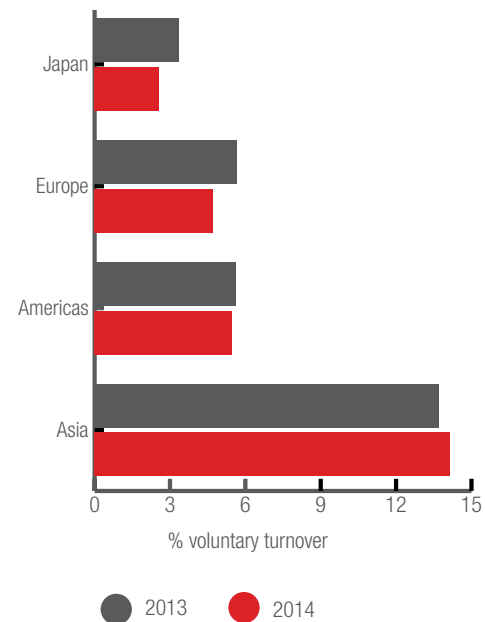
TIの文化を形作るのは、ここで働く社員たちです。私たちは、イノベーションや成長を促し、成功を認め、多様で誰でも受け入れる職場環境、従業員がいつでも働きたいと思える職場を目指して尽力しています。全世界のTI従業員の平均勤続年数は12年です。これは、米国労働統計局発表の全米平均を7年以上上回っています。[TI-LA17]

勤続年数



TIは、従業員と会社とのより良い関係づくりに向けた活動、継続的な能力開発機会、魅力的な報酬と福利厚生制度、安全で健康な労働環境整備により、従業員の雇用を維持し、離職を最小限に抑えています。TIの2014年の全世界の離職率は9.2%でした(2013年の9.1%と同じ)。離職率には従業員の自主的な退職と定年退職は含まれますが、インターンの退職は含まれていません。[LA1]

離職率



私たちは、各地のビジネス、文化、地理的側面を考慮して、改善に取り組んでいます。従業員の離職は半導体業界全体、特にアジアにおいて課題になっています。アジアにおけるこの問題を解決するために、TIは以下の方策を取っています。

- ・ 新規採用者が職務に対する十分な準備ができるよう、またTIで働くことに意義を感じることができるように、トレーニングプロセスを刷新しました。
- ・ マネージャに対し、継続的に「再採用」スキルを開発し、現在の従業員が成長および学習できる環境を構築するためのトレーニングを提供しました。

私たちは、従業員の定着率を継続的に改善し、問題が生じた際にうまく対処できるよう、地域ごとおよび職位ごとの定着率と勤続年数を分析していく予定です。

出産・育児休暇後の復職率と定着率については、現在、公表していません。[LA3]

安全

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
 - 概要
 - 採用活動
 - 雇用の継続
 - 安全
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
 - 給与と福利厚生
 - 能力開発
 - 多様性
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

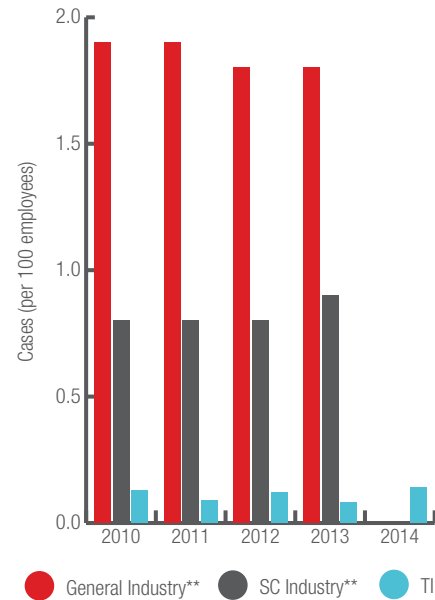
私たちにとって、従業員の安全は最優先事項です。TIは日常的な安全プログラム、施設の自己評価、安全監査を通して、従業員の安全性に関する潜在的なリスクを継続的に評価し、修正と改善を行っています。2014年には世界中のすべての製造拠点とアセンブリ/テスト拠点で、Occupational Health and Safety Assessment 要件の認定を受けました (BS OHSAS 18001:2007)。

TIのすべての製造拠点には、環境、安全、健康 (ESH) 委員会が設置されています。委員会は製造部門のマネージャ、ESH スペシャリスト、従業員の代表で構成されています。[LA5]

TIの目標は、全従業員に事故のない職場環境を提供することです。私たちはこの目標に対する進捗状況を定期的に確認しています。2014年には休業や仕事に制限が生じる、または仕事の移管が生じる (DART) 事例の発生率を 0.08 以下抑えるという目標を設定しました。これは業界平均の 0.8 を大幅に下回ります。最終的な DART 事例の発生率は 0.14 で、目標にわずかに届きませんでした。

また 2014 年には要記録事例発生率 0.20 以下という目標を設定しました。通年の発生率は 0.24 で、目標にわずかに及びませんでした。半導体業界の発生率 1.6 (2013 年) を下回っています。

DART cases*

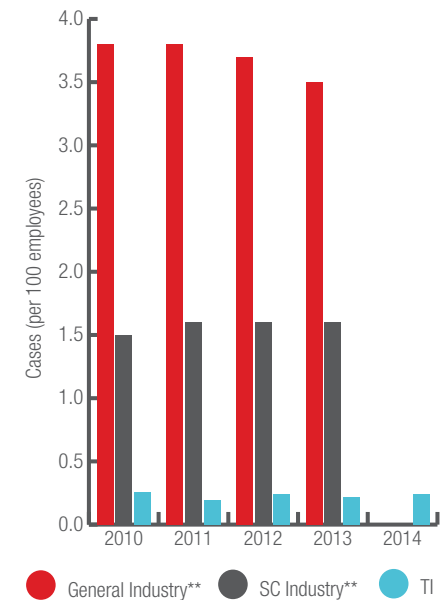


*Work-related injury (rate per 100 employee-years) that results in days away from work, restricted work activity and/or job transfer.

**Industry data was provided by the U.S. Occupational Safety and Health Administration (OSHA) and the Bureau of Labor Statistics (BLS). Statistics represent U.S. performance only. Semiconductor (SC) and general industry data for 2014 were not available at the time of report development.

TIでは、業務上の怪我や病気による従業員の欠勤をモニターしています。欠勤の比率は 4.65 でした。業務に関連した死亡事故は発生しませんでした。[LA6]

Recordable injury cases*



*Work-related injury (rate per 100 employee-years) that results in DART, medical treatment beyond first aid, loss of consciousness, death, or significant injury diagnosed by a physician or licensed health care professional, as defined by OSHA.

**Industry data was provided by OSHA and the BLS. Statistics represent U.S. performance only. SC and general industry data for 2014 were not available at the time of report development.



2015年もTIは引き続き

業務に関連した事故を最小限に抑え、DART 事例の発生率 0.08 以下という目標を達成し、要記録事例発生率が 0.20 を下回るように取り組みます。

健康

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
 - 概要
 - 採用活動
 - 雇用の継続
 - 安全
 - 健康
 - 仕事と生活のバランス
 - 給与と福利厚生
 - 能力開発
 - 多様性
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

TIは2014年も引き続き、米国内の従業員向けに集団検診と、健康および福利厚生に関する情報提供を行い、医療コストの低減と従業員の福利厚生改善に努めました。予防措置として、ほぼ5,900人の従業員に対してインフルエンザの予防接種を無償で実施しました。また、ウエイト・ウォッチャーズと連携し、社員とその配偶者、派遣社員が、格安でTI拠点で開催されるウエイト・ウォッチャーズのミーティングに出席したり、オンライン・マイペース・プログラムを利用できるようにしました。TI施設内のフィットネス・センター利用者は、平日は1日平均568人、1か月で約14,795人でした。



2015年もTIは引き続き

従業員向けに関連情報とリソースを提供することで、従業員の健康と福利厚生向上に投資します。米国ではTIは健康推進フェアと集団検診を主催し、フィットネス・センターの会員登録を推奨します。

仕事と生活のバランス

TIの福利厚生には、医療保険と生命保険、または補助的な保険プログラム、さらには各地で一般的に設定されているプログラムが含まれています。

プライベートと業務とのバランスを上手く保つことは難しい場合もあります。TIは従業員を支援するプログラムと様々なリソースを提供しています。2014年に提供したプログラムには、遠隔地の従業員用のリソースの改善、出産したばかりの女性従業員を部下に持つマネージャへの支援、養子縁組の支援、保育施設の利用促進、保護者教育のコースなどがあります。また、施設内でコンシェルジュ・サービスを提供し、米国の従業員向けにイベントの計画、プレゼントの購入、予約などを支援しました。米国の従業員にコンシェルジュ・サービスを提供することで、2014年に推定20,100時間の生産性の損失を防ぎました。このサービスは6,670件以上の要望に応えました。



2015年もTIは引き続き

リーダーと従業員のワーク・ライフ・イニシアティブおよびフレキシブルな労働オプションに関する啓発を行い、それらの利点とツールの利用を従業員に奨励します。

給与と福利厚生

・ 最高経営責任者から
のご挨拶

・ レポートの概要

・ 事業内容

・ 従業員

概要

採用活動

雇用の継続

- 安全

- 健康

- 仕事と生活の
バランス

- 給与と福利厚生

能力開発

多様性

・ 製品

・ 環境

・ サプライ・チェーン

・ コミュニティ

・ 進捗状況のサマリ

・ GRI インデックス

TI は世界の優れた人材を採用し、勤続を促す手段として、他社と比較し、魅力的な報酬を提供しています。私たちが提供している給与と福利厚生は、各地域の法によって定められた規定を上回るものか、(少なくとも) 規定を満たしています。TI が提供することがある福利厚生の例として、利益配当、有給休暇、医療保険、退職年金制度、社員持株制度、通勤手当、子供の扶養手当、教育支援、フィットネス・センターの割引があります。

TI は、すべての国において標準的な入社時賃金を維持しているわけではありませんが、現地の最低賃金を超える報酬を従業員に支払っています。[EC5]

TI は、性別、人種、民族などに関係なく、業務に関連する正当な評価に基づいて、各従業員に報酬を支払っています。幅広いカテゴリーの従業員を比較した賃金比率には、従業員ごとに異なる正当な賃金を決定するための要因(遂行する業務、責任の重さ、業務実態、スキル、資格、教育、経験など)が加味されていないため、賃金の平等を示す指標としては不十分と TI は考えています。[LA13]

米国の TI では、勤務体系の変更については少なくとも 1 週間前までに、人員整理(または解雇予告手当)については少なくとも 60 日前までに通知を行っています。米国外の TI では、地域の労働法に従っています。[LA4]

TI は 1997 年 11 月より前に雇用された米国内の従業員向けに確定給付型年金制度を設定しています。また、米国内の全 TI 従業員は 401(k) 貯蓄プランに参加できます。確定給付型年金制度の対象となっている従業員に対しては、年収の 2% までの範囲で TI が従業員拠出額の 50% を負担しています。確定給付型年金制度の対象となっていない従業員の場合、現在、年収の 4% まで TI が従業員拠出額の 100% を負担しています。1997 年 11 月 30 日より後で 2004 年 1 月 1 日より前に雇用された従業員も、401(k) プランで TI から 2% 固定の会社負担額を受け取ります。

TI の確定給付型年金制度への拠出額は、資金積み立てに関するすべての最低要件を満たすか、それらを上回っています。2014 年末の累積負担額は、米国の確定給付型年金制度に 9 億 6,800 万ドル、米国以外の確定給付型年金制度に 21 億 5,000 万ドルでした。TI の適格の米国確定給付型年金制度は 2014 年 12 月 31 日現在で十分な資金があります。詳細については、[SEC フォーム 10-K](#) の 49 ~ 50 ページをご覧ください。[EC3]

国正社員と非正規の勤務スケジュールで勤務する従業員(週 20 ~ 39 時間)は、医療、処方薬、歯科、眼科、従業員援助、所得補償を含む、すべての給付の受給資格があります。派遣社員、インターン、非正規の勤務スケジュールで勤務する従業員(週 20 時間未満)は、大部分の給付の受給資格がありません。[LA2]



2015 年も TI は引き続き、以下の内容を実施します。

- ・ 競争力のある補償パッケージと包括的な医療給付を提供します。
- ・ 医療費負担適正化法のすべての新しい要件に従います。
- ・ 従業員の医療貯蓄口座の分担金を増やします。定額控除の大きい保険制度に資金を毎年提供し、従業員が非課税の医療費を利用できるようにします。

能力開発

- 最高経営責任者からのご挨拶

- レポートの概要

- 事業内容

- 従業員

概要

採用活動

雇用の継続

- 安全

- 健康

- 仕事と生活のバランス

- 給与と福利厚生

能力開発

多様性

- 製品

- 環境

- サプライチェーン

- コミュニティ

- 進捗状況のサマリ

- GRI インデックス

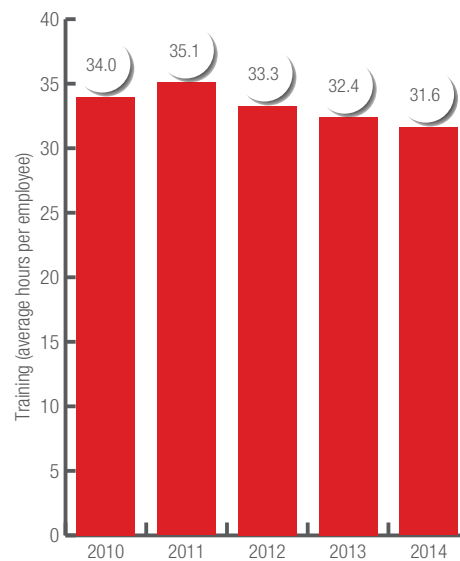
非常に優秀な人材を雇用していることは、TIにとって誇るべきことです。TIはすべての従業員に、魅力的でキャリアにプラスとなる機会を提供するよう務めています。経験の浅いエンジニアには、ローテーションプログラムや「Make an Impact」プログラムなどの体系化されたプログラムを通して、当社、当社の職務、当社のリーダーに幅広く触れられる機会を提供しています。また、当社の幅広い製品ポートフォリオやさまざまな業務を体験できる文化に触れ、さまざまな技術や多様なキャリア進路を選択する機会を従業員に提供します。

2014年は、全世界で従業員に平均31.6時間のトレーニングを実施しました。[LA9]

TIは教育支援プログラムを通じて受講料を補助し、350人を超える米国の従業員の学習支援を行いました。[LA10]

TIは従業員とマネージャに対し、業績と能力開発について定期的に話し合うことを奨励しています。私たちは、従業員の業績と姿勢を改善し従業員の目標と会社の優先事項とを一致させるのは、勤務評価よりも対話が重要と考えています。2014年、TIは世界的な成果管理キャンペーン「パフォーマンス・マターズ」を開始しました。このキャンペーンは、質の高い対話に対する期待を高め、

平均トレーニング時間



従業員とマネージャに対話を促すために行われました。このように、TIは勤務評価を正式に受けている従業員の数を記録しているのではなく、年間を通してさまざまな調査を行い、従業員が自身の目標とマネージャの期待内容を理解しているかに注目しています。[LA11]

早期のキャリア開発

TIは、大学新卒者がTIの従業員として学び、正しく行動し、成長できるよう取り組んでいます。2014年は700人を超える大学新卒者がTIの能力開発プログラム、「Make an Impact」に参加しました。この1年にわたる取り組みは、8か国250以上のセッションを通じて展開され、新卒採用者の能力を高め、TIで成長と成功を促すことを目指しています。

エンジニアの能力開発

TIは、エンジニアが継続的に能力開発できるようにテクニカル・トレーニングも提供しています。エンジニアの基礎的なスキルや、変化するニーズへの対応力を高められるよう、2014年には世界各地で1,150以上のテクニカル・トレーニング・クラス、カンファレンス、セミナーを開催しました。

また、設計のやり直しによって、アナログ、組込みプロセッシング、およびDLP®などのチップ供給が遅れることがないように、エンジニアのバリデーションやベリフィケーションスキルを向上するための取り組みを引き続き強化しました。私たちは、検査と検証における一般的な課題や経験、教訓、ベスト・プラクティスを共有するた、カンファレンスを2度実施しました。各カンファレンスの後、参加者は各自の業務にそれらのベスト・プラクティスを導入しました。同様に、私たちはエンジニアリングのカリキュラムを強化し、担当する分野に必要なスキルを獲得できるようにしました。

能力開発

・ 最高経営責任者から
のご挨拶

・ レポートの概要

・ 事業内容

・ 従業員

概要

採用活動

雇用の継続

- 安全

- 健康

- 仕事と生活の
バランス

- 給与と福利厚生

能力開発

多様性

・ 製品

・ 環境

・ サプライ・チェーン

・ コミュニティ

・ 進捗状況のサマリ

・ GRI インデックス

また、TI のテクニカル・リーダーへ 339 人の従業員を昇進または再選出しました。このプログラムは、技術上または生産上の重要な貢献をした従業員を高く評価するものです。

リーダーシップ

TI はリーダーの育成に取り組んでいます。2014 年には、422 人の新任マネージャが開発プログラム「Choose to Lead」に参加しました。このプログラムは、ワークショップ、オンライン・リソース、および包括的な評価で構成されています。TI は、マネージャのリーダーシップ・スキルを開発し、ベスト・プラクティスを共有するため、スーパーバイザ・フォーラムや能力開発研修をマネージャ向けに開催しました。

また、「Leadership Matters」イニシアティブを立ち上げました。これは、TI がマネージャに期待する内容を明確にし、全世界のマネージャにより詳細なトレーニングを提供することを目的としたものです。



2015 年も TI は引き続き

会社の成長と持続可能性を推進するイニシアティブに重点を置きます。以下の内容を実施します。

- ・ 講義やオンライン・トレーニング、社内カンファレンスやシンポジウムを通してエンジニアリングと職務の能力開発プログラムを拡充します。
- ・ 現在の「Choose to Lead」プログラムに代わり、内容を見直しさらに拡充させた「Leadership Training 1.0」プログラムを導入します。このプログラムでは、1 人 1 人の違いと多様性を認める重要なリーダーシップ・スキルの構築、および方針と手順に関する追加トレーニングに力を入れます。
- ・ リーダーシップ育成プログラムに「Leadership Training 2.0」を追加します。このプログラムでは、他のマネージャを管理する職務に新しく昇進した従業員にトレーニングを実施します。

多様性

・ 最高経営責任者から
のご挨拶

・ レポートの概要

・ 事業内容

・ 従業員

概要

採用活動

雇用の継続

- 安全

- 健康

- 仕事と生活の
バランス

- 給与と福利厚生

能力開発

多様性

・ 製品

・ 環境

・ サプライチェーン

・ コミュニティ

・ 進捗状況のサマリ

・ GRI インデックス

創造性、問題解決、そして何よりも、イノベーションには、さまざまな人々が働く、多様性に富んだ職場環境が欠かせません。TIは、多様性をもった職場を作ることと同様に、採用においても多様な候補者を集めることを重視しています。詳細については、「[人材](#)」をご覧ください。

上級リーダーは多様性に富み、だれもが働きやすい職場づくりを推進しており、従業員にも同様の姿勢を期待しています。TIの多様性と包括性への取り組みの詳細については、TIの[多様性と包括性のe-book\(電子書籍\)](#)をご覧ください。この書籍では、TIの多様性と包括性のためのコミットメント、イニシアティブ、表彰などを取り上げています。

2014年も引き続き、TIダイバーシティ・ネットワークが従業員向け教育と協業にむけた様々な取り組みをリードしました。たとえば、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教のイニシアティブが共同で、信仰と、信仰が職場においてどのような影響を持つのか、について理解を深める学習機会を後援しました。米国ダラスで生まれたTIの女性イニシアティブは、現在、世界中のアセンブリ/テスト拠点、日本と中国の製造拠点、ドイツとインドの拠点へと活動を広げています。

TIの上級リーダーは、ダイバーシティ・イニシアティブのスポンサーになっており、従業員はイニシアティブを通してアイデア交換、課題の話し合い、教育プログラムの開発、およびキャリア開発、コミュニティ活動参加、表彰、指導の支援を行うことができます。

ガバナンス組織の構成

従業員区分	2014	
	ボード (%)	役員 (%)
男性	64	80
女性	36	20
年齢: <30 年	-	-
年齢: 30 ~ 50 歳	9	20
年齢: 50 歳超	91	80
エスニック・マイノリティ	27	-

[LA12]

私たちは、雇用、育成、雇用継続の取り組みを通して、米国における性別とマイノリティの多様性を改善しようと常に努めています。私たちは、どうすれば成功をより正しく測定できるか理解し、状況の改善を図っています。TIは上級リーダーとともに進捗状況を定期的に確認しており、2014年には取締役会にも概要を報告しました。私たちは差別に関する業務上の問い合わせや問題点を真剣に受け止めており、各事案を調査し必要に応じて措置を講じるよう務めています。[HR3]

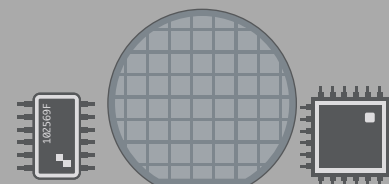
また、別の観点から問題を捉えるために、Glassdoorなどの公開ソーシャル・メディア・サイトをモニタし、従業員がTIについてどのように評価しているの

かを確認しています。多様性に関するさまざまな賞にも応募しており、他社と比較した場合の自社の評価を継続的にモニターしています。2014年にTIのダイバーシティ・イニシアティブが獲得した賞については、「[従業員の概要](#)」をご覧ください。



2015年、TIは以下の内容を実施します。

- ・ 米国内の退役軍人、障がい者、マイノリティ、女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、および性転換者(LGBT)への採用の働きかけを増やします。
- ・ 多様性と包括性に関する事項について、リーダーをさらに関与させ、リーダーの教育を実施します。たとえば、TIインサイト・グループのメンバーが自身の経験について話し合っって包括性を促進する方法をアドバイスする会議に上級リーダーが参加する機会を持ちます。TIインサイト・グループは、歴史的にエンジニアリングへの進出が進んでいないグループ出身で、高い評価を得ている女性やアフリカ系アメリカ人、ヒスパニックの従業員が参加しています。



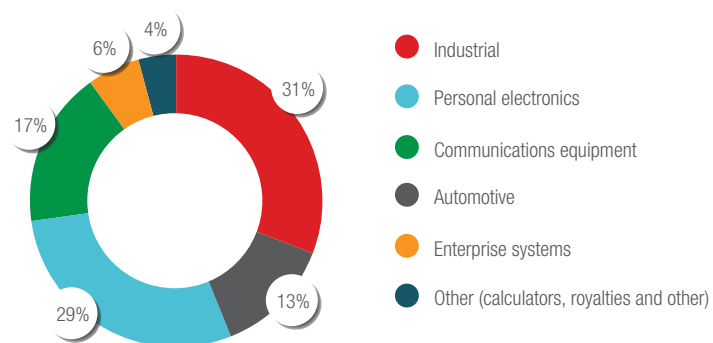
- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ **概要**
- ・ 製品ポートフォリオ
- ・ 革新
- ・ 品質と信頼性
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況の要約
- ・ GRI インデックス

概要

TI は、当社のお客様と世界のために持続可能なソリューションを作り上げるのに役立つ、**責任ある製品の設計と製造**を行うことを強く望んでいます。TI のリーダーは会社全体に非常に優れた製品を設計、開発、供給するよう指示し、それが実現することを期待しています。[EN27]

2014 年、私たちは研究開発に 14 億ドルを投資しました。この投資を利用して、エネルギーや水の有効利用、医療、安全、教育を受ける機会など、世の中で最も重要な課題の解決に役立つ新しい半導体製品やその他のイノベーションの開発を進めています。TI は世界中の半導体のお客様に対して多彩なテクノロジーを提供しています。詳細については、TI の Web サイトで TI の **製品**をご覧ください。

TI 製品の市場



[G4-8]

評価

TI は、Thomson Reuters の「トップ 100 グローバル・イノベーター」に 3 年連続で選ばれるなど、イノベーションと製品に対する責任への取り組みによって高く評価されています。

製品ポートフォリオ

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
 - 概要
 - 製品ポートフォリオ
 - 革新
 - 品質と信頼性
- ・ 環境
- ・ サプライチェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況の要約
- ・ GRI インデックス

TI は動作に最小限のエネルギーで動作するチップを設計することで、低消費電力ソリューションのリーダーとしての地位を確立しています。TI の低消費電力ソリューションにより、お客様はより効率的、独創的にエネルギーを使用する最終アプリケーションを作成できます。[EN7]

私たちは、政府の措置によって今後もエネルギー効率が高まり、再生可能エネルギーの利用が増えることを期待しています。スマート・グリッドその他の高効率製品への投資や、高エネルギー効率製品を使用し排出を削減するよう圧力が高まれば、TI の高エネルギー効率テクノロジーに対する需要が増え続けます。[EC2]

TI は 2014 年、パワー・マネージメント、センサ・テクノロジー、再生可能エネルギー、および発光ダイオード (LED) ライティングの分野で革新的な新しいソリューションを発表しました。



電源管理

TI のパワー・マネージメント集積回路 (IC) により、電源とバッテリー管理ソリューションの効率向上が可能になります。2014 年、私たちは業界最小で最高性能の 1A および 4A の昇降圧レギュレータを発表しました。これはリチウムイオン・バッテリーで動作するアプリケーション用に設計されたレギュレータで、他社製品の半分のソリューション・サイズでバッテリー寿命を延長し、最大 95% の効率を達成できます。

センサ・テクノロジー

TI は温度と電流のセンシングをリードする企業として知られており、それ以外にも光やガス、インダクタンスなどのパラメータ用の革新的なセンシング・テクノロジーを発表してきた歴史があります。2014 年、TI は幅広いセンシング製品のポートフォリオに多数の新しいデバイスを加えました。たとえば、4 つの新しいセンシング回路により、エンジンには、スペースに制約のある超低消費電力アプリケーションで主要なパラメータを正確に検出できるようになります。これらの回路は、さまざまな産業アプリケーションやエンタープライズ・アプリケーションで温度、湿度、周囲光、キャパシタンスを検出できます。私たちは引き続き、このようなセンシング・テクノロジーに投資していきます。

再生可能エネルギー

再生可能エネルギー源の可能性を広げるための取り組みとして、TI は C2000™ ソーラー・マイクロ・インバータ開発キットを発表しました。このキットは、太陽光発電業界で新登場したセグメントであるソーラー・マイクロ・インバータの設計開発プロセスを簡略化します。ソーラー・マイクロ・インバータ・システムでは、従来のように設備内にあるすべてのソーラー・パネルを単一の集中型インバータに接続するのではなく、各ソーラー・パネルの出力に、より小型の「マイクロ」インバータを配置します。この構成には、部分的に日陰になった状況への対処、システム効率の向上、信頼性の向上、モジュール性の向上など、多くの

利点があります。

LED ライティング

TI のテクノロジーにより、複数のアプリケーションで LED を駆動し、ライティングでエネルギー効率と安全性を向上できます。TI のポートフォリオには、汎用ライティング、サイネージ、バックライト、オートモーティブ・アプリケーション向け LED ドライバ、DC/DC コンバータ、ワイヤレスと有線のインターフェイス制御、および組み込みプロセッサが含まれます。2014 年、TI は業界初のアダプティブ (状況適応能力の高い) オートモーティブ・ヘッドライト・システム用の統合型高輝度 LED マトリクス・マネージャ IC を発表しました。この IC で自動車のヘッドライトがバッテリーから独立して動作できるため、電源条件が下がりエネルギー効率が改善します。その他の利点として、安全性の強化、機能性の向上、信頼性の向上などがあります。



革新

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
 - 概要
 - 製品ポートフォリオ
 - 革新
 - 品質と信頼性
- ・ 環境
- ・ サプライチェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況の要約
- ・ GRI インデックス

革新

TI の未来は革新にかかっています。革新は私たちの事業に大いなる機会と挑戦を生み出します。TI では革新は新製品の開発、テクノロジー・ラボ、製造、そして研究の中で生まれます。

テクノロジー・ラボと評価

TI の**キルビー・ラボ**は、画期的なテクノロジーを生み出すことに主眼を置く、特別な従業員グループを配置したイノベーション・センターです。2014 年に TI は以下のような画期的なテクノロジーを研究しました。

- ・ センサ製品: 超低消費電力の音紋検出。
- ・ アドバンスド・パワー・マネージメント製品: 超高密度 DC/DC パワー・コンバータ。
- ・ 絶縁された統合型パワー・マネージメント用の革新的な技法。

キルビー・ラボで開発される製品は、技術的に実現可能で、市場ニーズに対応し、ビジネスとして魅力的な投資利益率を達成する必要があります。キルビー・ラボの研究者は、上級技術者とマーケティング部門および製品ラインのリーダーと協力して、製品ラインの将来的ニーズに応える新しいプロジェクトを提案し、同意を得ています。キルビー・ラボは、最初の製品設計から場合によっては製品の発売に至るまで、プロジェクトを継続的にサポートします。

テキサス州ダラスとカリフォルニア州サンタクララにある TI のイノベーション・スタジオは、どちらも、ラボで開発済みまたは開発中の新しいコンセプトでお客様に印象的な体験をしてもらえらるデモ・スペースです。2014 年のお客様のスタジオ訪問は 40 回以上になり、TI の既存の製品を使用し続けるよう促したり、お客様のシステムで TI 製品を使用するよう検討を促したりしました。

会社全体を対象にした Jack Kilby Award of Innovation プログラムは、革命的なテクノロジーを開発したチームを表彰するものです。2014 年は、世界初のインダクタンス/デジタル・コンバータを作成したサンタクララのチームが受賞しました。この「既成概念を破壊し、既成概念と差別化し、既成概念に挑戦する」テクノロジーは、誘導性センシングをコスト効率の高いシンプルなものにして、その利点を多くのお客様に届けます。TI 初のイノベーション・セレモニーでは数百人の従業員が優勝チームを祝福しました。



製造のイノベーション

私たちは製造プロセスのイノベーションも推進しています。たとえば、生産量と製造キャパシティの増加にも関わらず、2005 年以来、必要なエネルギー、取水量、製造する 1 チップあたりの排出量は 7% 以上(

平均) 減少しています。この傾向は、TI の生産テクノロジーの進展に依るところが大きくなっています。TI はアナログ製品の製造に 300mm ウェハー・サイズを用いた最初の企業であり、2014 年にはこのウェハー・サイズの製造を大幅に増やしました。このウェハーの製造では必要な化学物質とガスが減り、水と電気を効率的に使用してチップを増産できます。

研究

私たちは、社内と社外(大学や業界内コラボレーションなど)の両方で研究を行っています。

TI の先端開発チームは、他社の技術者と研究課題や直面する重要な問題について話し合っています。新製品開発につながる課題を見据え、他社の製品と私たちの専門知識とを結び付ける接点を見つけ出しています。

革新

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
 - 概要
 - 製品ポートフォリオ
 - 革新
 - 品質と信頼性
- ・ 環境
- ・ サプライチェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況の要約
- ・ GRI インデックス

大学や業界とのコラボレーション

TI は革新的な半導体技術のために、大学との緊密な連携を通して、研究資金、プロジェクト機会、およびインターンシップを提供しています。大学の研究の進展を助け、学生が半導体業界を理解し、研究から革新的な製品を生み出すことができるよう、寄付を行っています。2014 年、私たちは Semiconductor Research Consortium (SRC) を通じて大学での研究資金として 1,300 万ドルを提供しました。また、いくつかの大学で実施されている研究に約 900 万ドル相当の資金援助を行い、卒業生をさまざまな TI イノベーション・ラボでインターンとして雇用しました。

TI は 2014 年、テキサス大学ダラス校にある Texas Analog Center of Excellence (TxACE) を支援しました。TxACE は、教育機関を拠点にした最大のアナログ研究センターで、社会と業界のニーズに応える回路とシステムを創り出すことを目指しています。現在の注目分野の 1 つは、公共の安全とセキュリティといった課題を解決するアナログ・テクノロジーです。たとえば、TxACE は、爆発物や化学薬品などの有害物質をスキャンできるデバイスを開発するために、これまでに研究者に 300 万ドル近くを提供しています。



2015 年の計画は以下のとおりです。

- ・ エネルギーの管理、安全性とセキュリティの確保、医療の進歩の推進、クラウド・コンピューティングの実現、テクノロジーに基づくエンターテインメント体験などに役立つ、画期的で累積的なイノベーションに引き続き投資を行います。
- ・ SRC を通じて、大学での研究資金としてさらに 1,000 万ドルを寄付します。
- ・ 大学で実施されている基礎研究や応用研究の資金援助のために、1,100 万ドル以上寄付します。
- ・ 以下に参加します。
 - » SRC によるナノエレクトロニクス研究イニシアティブ。将来の電子デバイスの開発を推進します。
 - » SRC/国防高等研究計画局の Semiconductor Technology Advanced Research Network (STARnet)。これは、大学の研究センターによる共同研究ネットワークです。マイクロエレクトロニクス産業の長期的な成長を脅かす、根本にある物理的な限界を超える方法を探究しています。

品質と信頼性

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
 - 概要
 - 製品ポートフォリオ
 - 革新
 - 品質と信頼性
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況の要約
- ・ GRI インデックス

私たちの製品や製造プロセスにおける品質と信頼性は、TI およびお客様にとって重要なことです。社内外の製造プロセスと、一元化された原材料の購入を通して、詳細な監視と作業の適正化により、製品の品質を管理しています。継続的な改善に向けた TI の取り組みにより、お客様からの返品 (100 万個あたりの個数) は 6 年連続で減少しています。

原材料

責任ある、効率的な製造へ向けた取り組みの一環として、TI は金線を使ったものから、銅線をつかった半導体への移行を主導しています。金は、高価なうえに、紛争と無関係な供給源を見つけることは困難です。一方、銅はコスト効率に優れて入手しやすく、他の製造上およびパフォーマンス上の利点があります。詳細については、「[サプライヤの持続可能性実績 \(材料の由来\)](#)」をご覧ください。TI の既存のアナログおよび CMOS シリコン・テクノロジー・ノードの多くは銅に変更済みで、新しい TI テクノロジーとパッケージはすべて、銅線ワイヤ・ボンディングで開発されています。

2014 年、欧州の REACH (化学物質の登録、評価、認可および制限) 規則の高懸念物質リストと米国カリフォルニア州のプロポジション 65 の有害化学物質リストに、ポリ塩化ビニル (PVC) で検出される軟化剤が追加されました。PVC への高まる懸念により、米国議会でも、小売包装での PVC 使用禁止に関する話し合いが行われました。このような懸念の拡大に対し、TI の教育用テクノロジー・ビジネス

は、USB (Universal Serial Bus) ケーブルと小売包装で PVC の代わりに使用可能な代替物質についてサプライヤの調査を実施し、小売包装での PVC 使用廃止を計画しています。

コンプライアンス

TI は、お客様のニーズに応える高品質、高信頼性の半導体ソリューションを供給することを使命としています。持続可能性に関する国内規格と国際規格への TI 製品の準拠については、TI の [Eco 情報および鉛 \(Pb\) フリー Web サイト](#) をご覧ください。記載されている情報では、世界的規制に準拠していること、および TI のお客様に対する規制物質と管理物質の使用が管理されていることが示されています。

2014 年は REACH 規則と有害物質の制限 (ROHS) 規則で、TI の事業運営、製品の成分、サプライ・チェーン管理に影響がありました。各規則の影響の詳細については、TI の [REACH に関する声明](#) と [RoHS に関する声明](#) をご覧ください。

2014 年に TI は配送とラベリングに関する規制やお客様からのご要求に対応しました。誤植や誤ったコードなど、ラベリングの小さな誤りは起こる場合がありますが、私たちはそのような誤りを訂正し、迅速でコスト効率に優れた製品配送を確実にできるように取り組んでいます。[PR4]

私たちは、正しい包装を通してお客様が TI 製品の情報を得ることができるようにしています。詳細につい

ては、TI シティズンシップ Web サイトの [品質と準拠](#) に関するセクションと [責任ある包装](#) に関するセクションをご覧ください。[PR3]

TI では 2014 年全体を通じて、製品およびマーケティングに関連した法規制違反は発生せず、重大な罰金や罰則、および重大な罰金以外の制裁措置を受けませんでした。[PR2] [PR7]

規格

TI の品質管理には、製品、サポート、および製造組織が国際的に認められた規格に基づく規格や基準を満たすか、それらを上回るためのプロセスとシステムが組み込まれています。

2014 年も TI は引き続き、特定の外部電源クラス (DOE レベル VI 規格と呼ばれています) を対象とした、米国エネルギー省 (DOE) の省エネルギーに関する改正標準と新設標準を満たす製品を開発しました。現時点で TI の 700V フライバック・コントローラファミリには、現在および将来の業界スタンダードに準拠し、低コストでクラス最高のスタンバイ電力と効率を実現する 2 つの製品があります。

品質と信頼性

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ **概要**
- ・ **製品ポートフォリオ**
- ・ **革新**
- ・ **品質と信頼性**
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況の要約
- ・ GRI インデックス

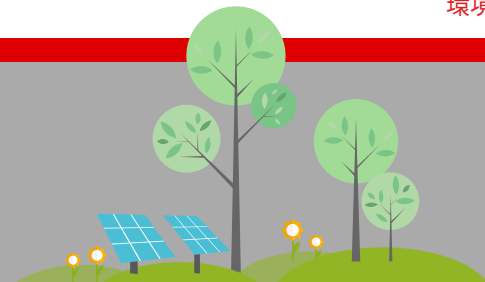
TI が従っているその他の国際的に認められた規格には以下のものが含まれます。

- ・ 国際電気標準会議 (IEC) の QC 080000 電気・電子製品が含有する有害物質プロセス・マネジメント・システム要求事項。
- ・ 国際標準化機構 (ISO) の品質マネジメント・システム、ISO 9001 および ISO 14001。
- ・ オートモーティブ業界向けの、国際品質システム規格 TS 16949。

TI は、コスト、環境、テクノロジー、責任、供給の確実性、および品質 (CETRAQ) の評価を通じて、半導体製造サプライヤに TI と同じ環境的および社会的な責任を求めています。CETRAQ の詳細については、「[サプライヤの持続可能性実績](#)」をご覧ください。

製品ライフ・サイクル管理

100,000 近くもの製品があると、1 つ 1 つライフ・サイクル評価を行うにはかなりのコストがかかります。([ライフ・サイクル評価](#) の詳細については、TI シティズンシップ Web サイトをご覧ください)。環境問題は TI のステークホルダーにとって大変関心の高いものであるため、2014年、私たちは TI の代表的な半導体チップの環境全般を評価しました。特にエネルギー利用に注目し、設計、製造、動作に必要なエネルギーや、生産の効率化によって節約できるエネルギー量を調査しました。調査結果を従業員やその他のステークホルダー用に PDF 形式で 1 ページのインフォグラフィックスにまとめたものが [The environmental footprint of a TI semiconductor chip](#) (英語) です。



環境

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境

概要

業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

廃棄物と排出

- 排気の管理
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

概要

私たちは、適用される環境関連の法令、規制、および規格への 100% の準拠を見込んでいます。TI は世界中の TI の事業運営において責任ある原材料の調達と使用を行い、潜在的な環境への影響を誠実に管理します。私たちは、業務の効率化、品質とリスクの管理、準拠、および透明性を通して、持続可能なビジネスを目指しています。また、1 年間の目標、複数年の目標、および関連するプログラムを設定し、継続的な改善を目指します。

2014 年に TI は、マレーシアのクアラルンプールの廃水処理システム設置などの環境保護関連の設備改良に約 700 万ドルを投じました。また、廃棄物処理、廃水処理、改善のための費用や、環境、安全、および健康 (ESH) 要員にかかる経費など、環境保護関連の営業費用として約 4,110 万ドルを投じました。TI は 2014 年、重大な罰金を受けませんでした。[EN31] [EN29]

TI の ESH 管理システムには、コミットメント・ポリシー、リスク評価、目標設定、モニタリング、実績評価、および監査が含まれます。私たちは管理システム・マニュアルと ESH 基準を使用して、従業員に役割と責任を伝えています。

施策

TI の会長、社長兼最高経営責任者が署名した ESH [ポリシーおよび原則](#) は、TI が持続可能な方法で事業を運営する指針となるものです。たとえば、製品を効

率的に販売したり、従業員に相乗り出勤を推奨したり、環境規制の準拠要件を満たしたりすることがこれにあたります。

TI の環境に関するポリシーは、Electronic Industry Citizenship Coalition (EICC) 行動規範に沿ったものです。TI は EICC の正式なメンバーとして、工業界の他の企業と連携して、ベスト・プラクティスの遵守および導入を行い、弊社の一次サプライヤに対して同様の実施を促します。TI の環境ポリシーとサプライヤへの期待は、「[サプライ・チェーン](#)」のセクションをご覧ください。

TI のすべての製造拠点は、エネルギーの利用、化学物質の削減、水の効率的利用を管理するスコアカードを使い、マネジメントに環境実績を報告しています。スコアカードは、透明性確保とベスト・プラクティス共有のために社内でも共有され、説明責任を果たすために使用されます。

TI の ESH 監査プログラムは、専任の社内監査チームが行っています。企業監査では、地域の法令と規定、および TI の ESH 基準への準拠を検証します。監査は各施設で少なくとも 3 年に 1 回実施されます。監査のない年は、各施設が自己評価を実施します。2014 年には、12 の施設で社内監査チームが監査を実施しました。

また、米国半導体工業会 (SIA)、ヨーロッパの Environmental and Social Impact Assessment (ESIA)、および Semiconductor Manufacturing Technology (SEMATECH) コンソーシアムの活動を通し、同業他社と比較したベンチマークを測定しています。

私たちは 1996 年以降、製造拠点で国際標準化機構 (ISO) の質の高い環境マネジメント・システム (ISO 14001) 認証を取得することを必須としてきました。2014 年に認証を取得した、中国の成都の施設を含め、TI の全世界の製造拠点はすべて、ISO 14001:2004 の外部認証を取得済みです。TI の ISO 14001 企業認証には 15 か所の拠点が登録されています。詳細については、TI の品質 Web サイトの [認証](#) に関するセクションをご覧ください。

概要

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境

概要

業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

廃棄物と排出

- 排気の管理
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

ガバナンス

TI の施設を担当する副社長は、最高財務責任者の直属の部下で、当社の事業運営の環境ポリシーと実績を管理しています。

取締役会の監査委員会の主な役割の1つは、TI の社内管理システム、法や規制上の要件に対する準拠、TI の社内監査機能と独立監査人の成果の監督について、取締役会を支援することです。気候変動や環境問題など重要な事項については、その影響をレビューに含めることで、監査委員会が適切な決定を下し、監督責任を果たせるように支援します。

当社には、TI の事業運営の効率をさまざまな面から改善する、部門を超えたエキスパートで構成されたチームがあります。温室効果ガス (GHG) 戦略チーム、エネルギー・チーム、および水利用に関する戦略チームなどは、状況と進捗について全世界の施設の各リーダーに対して概要を定期的に報告しています。

TI には、専用のコミュニティ電子メール・アドレスや匿名でも問い合わせできる TI のエシックス・オフィスなど、社内および社外のステークホルダーが環境に関する質問や懸念、苦情を連絡できる複数のチャネルを用意しています。受け取った質問は、専門の担当に送られ、内容の確認と適切な対応が実施されます。2014 年、TI には環境への影響に関する苦情はありませんでした。また、未解決の苦情もありませんでした。[EN34]

表彰

2014 年、TI は環境への取り組みによって世界的な評価を受けました。以下にその一部を示します。

- ・ ニューズウィーク誌のグリーン企業ランキングの「最もグリーンな企業」(5 年目)
- ・ ロングクリーク流域地区の「優れた工業所有権管理者」(メイン州サウスポートランドの TI の拠点に対して)
- ・ メイン州環境保護省の環境部門知事賞
- ・ Confederation of Indian Industries (Southern Region) で、環境、安全、および健康に関するポリシーと慣行に 5 つ星評価
- ・ フィリピン商工会議所のエコロジーとエコノミー特別優秀賞
- ・ 台湾労働委員会の第 1 回国家労働安全衛生賞
- ・ 台湾環境保護署の企業環境保護賞、銅賞

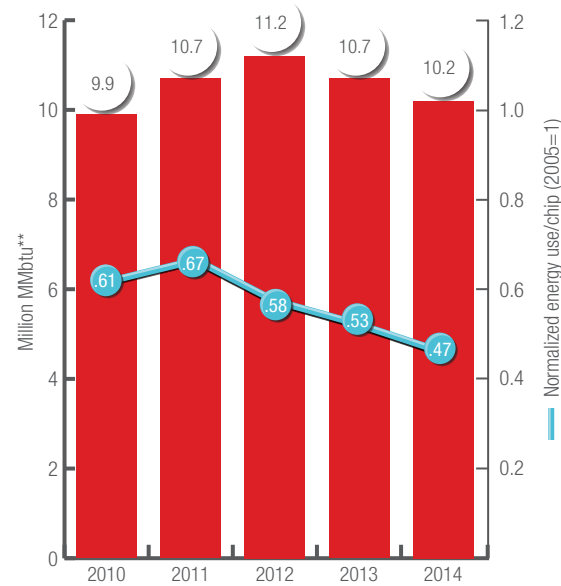
エネルギー利用

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
 - 概要
 - 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
 - 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

年間何百億個もの半導体チップを製造するには、エネルギーや水、その他原料などの重要なリソースが不可欠です。TIが使用するエネルギーの大半は、半導体の製造プロセスで使用され、24時間365日動作している製造装置もあります。

TIのエネルギー利用には、拠点で使用される天然ガスなどや、購入した電気などが含まれています。TIが全世界で使用するエネルギー使用量の合計は、29億9,100万キロワット時(kWh)でした。これは、弊社の二酸化炭素排出量の約56%に相当します。[EN3] 2013年から2014年、生産量は増加しましたが、エネルギー使用量の合計は4%減少しました。[EN6] [EN19]

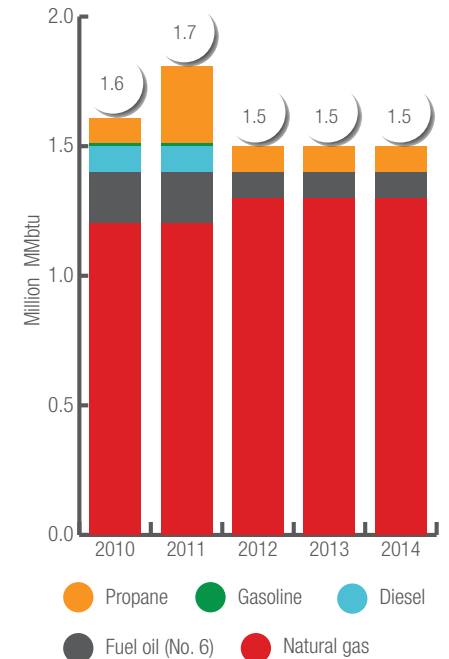
エネルギー使用量合計



*The total of all energy resources TI consumed (direct and indirect). In 2013, we inadvertently excluded our North Campus (Dallas, Texas) gas plant energy use (provided by a third party) from our total. For consistency in disclosure, it has been added back into our 2013 total and reflects a 3 percent change in total energy use for that year. The gas plant energy use was included in all previous years and is also included in the 2014 data.

**MMBtu is a measurement denoting the amount of heat energy in fuels.

直接エネルギー使用量

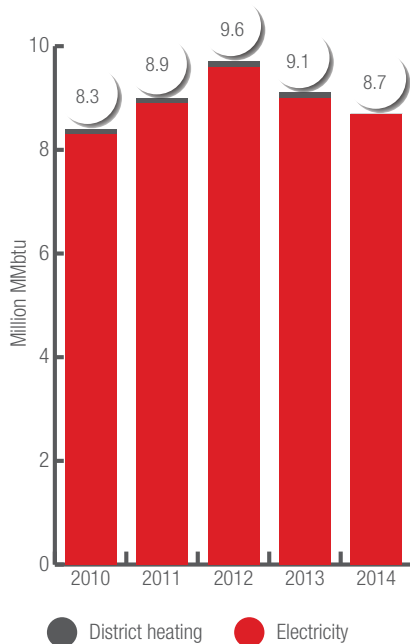


*Energy TI consumed, such as the burning of gas, diesel and fuel oil, that results in GHG emissions.

エネルギー利用

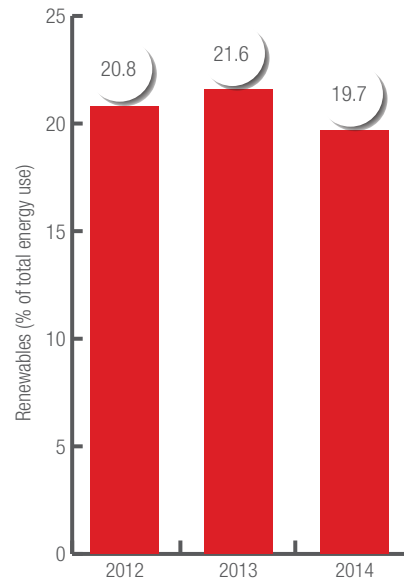
- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
 - 概要
 - 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
 - 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

間接エネルギー使用量*



*Consumption of imported electricity by TI sites as well as heat (Freising, Germany site only). GHG emissions resulting from the consumption of these resources does not result in GHG emissions directly from TI property.

再生可能エネルギー使用量



エネルギー効率

2010年、私たちは業務運営効率に重点を置いた複数年にわたるサステナビリティ目標を設定しました。5年間の目標の1つは、チップの設計、販売、および製造に必要なエネルギーを2015年までに45%削減することでした。2014年末の時点で標準化エネルギー使用量は2010年基準から23%の削減を達成しました。

2015年目標 (2010年を基準として)	2014年の状況
製造する1チップあたりに必要なエネルギー量45%削減	23%削減

[EN5]

TIの各施設には「エネルギー・チャンピオン」がいます。エネルギー・チャンピオンとは、全社レベルのエネルギー・チームとやり取りしながらエネルギー削減プロジェクトを主導するエンジニアです。エネルギー・チャンピオンは、電子メール、月例のミーティング、およびエネルギー削減プロジェクトのグローバル・データベースを通じて、エネルギー管理のベスト・プラクティスを共有しています。プロジェクトのマスター・リストを使い、ベスト・プラクティスの共有を進め、全社レベルでの削減を検証しています。

エネルギー利用

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境

概要

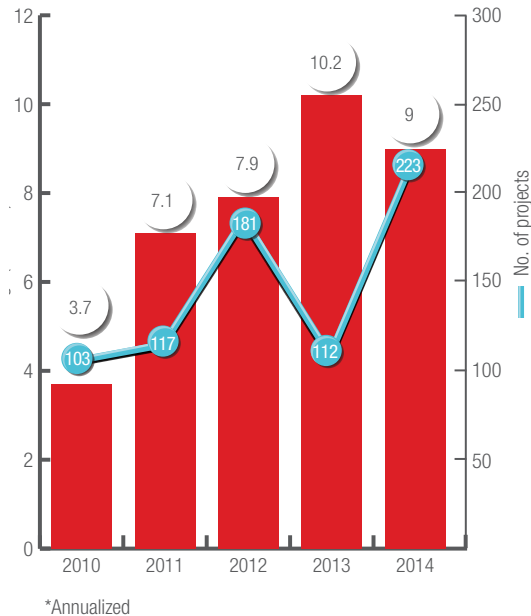
業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用
- 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

2014年には光熱費(エネルギーと水)を900万ドル削減するという目標を設定しました。私たちは光熱費削減プロジェクトによってこの目標を上回り、コストを970万ドル削減しました。

全世界で実施したエネルギー削減プロジェクトは223に上り、年間900万ドルの削減になる予定です。2014年の時点で、実施した全プロジェクトによる光熱費の累積削減額は、光熱投資プログラムを開始した2005年を基準に5,300万ドルになります。

省エネルギーの沿革



2014年には2回の光熱管理のためのワークショップを開催しました。1回は米国、もう1回はフィリピンです。TIの21か所の施設代表者がトレーニングに参加し、エネルギー管理における取り組みをを共有し、将来の改善策について話し合いました。また、中国、成都の新しいアSEMBリ/テスト拠点の設計レビューを数回実施し、設計効率を確保しました。さらに、メキシコとスコットランドの施設でエネルギー評価のフォローアップを行いました。この際、各施設でエネルギー削減とコスト削減の進捗状況を確認し、プロジェクトの優先順位を更新しながら、ベスト・プラクティスを共有しました。

LEED

TIは、すべての新建築物で米国グリーン・ビルディング協議会の Leadership in Energy and Environmental Design (LEED) 認定を取得しようとしており、LEEDの慣行を既存の建築物に適用しています。2014年には、テキサス州シュガーランド(ヒューストン近郊)の新しいオフィス/ラボ複合施設に対してLEED認定を申請しました。2015年に最終認定レベルを取得する予定です。2015年には、既存のオフィスの大規模改装プロジェクトでLEEDに準拠した取り組みを行う予定です。

建物や工場施設の改善

2010年、TIは米国エネルギー省(DOE)の「Better Buildings, Better Plants」プログラムにそって、米国の製造拠点で2020年までにエネルギー強度を25%削減するという目標を設定しました。私たちは、この目標を予定より早くクリアし、2014年には32%の削減をしました。また、DOEに目標達成が認定されました。また、次の目標を倍の「2020年までに50%削減」に設定しました。TIはこの目標の達成を米国エネルギー省から認定されました。

TIの2015年のエネルギー使用に関する計画は以下のとおりです。

- ・ 効率化プロジェクトを通して光熱費をさらに950万ドル低減します。
- ・ 引き続き、ベスト・プラクティス、評価、アイデアの共有を活用して、すべての既存の拠点で光熱費を削減します。
- ・ より手頃な再生可能エネルギーを新しく購入する機会を見極めます。

水利用

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
 - 概要
 - 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
 - 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

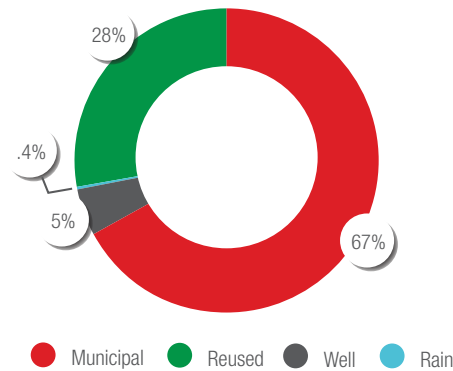
水資源は半導体製造において重要で、生産プロセスに必要な脱イオン水を生成しています。TIの多くの製造拠点における主な水供給源は、地元自治体です。水はTIの事業運営にとってもTIの拠点があるコミュニティにとっても非常に重要であり、責任ある方法で効率的に使用するように細心の注意を払っています。

TIの水の総使用量は、生産の増加にも関わらず、前年から横ばいでした。TIは2014年に水の総使用量の28%を再利用し、冷却塔、洗浄装置、または製造で利用しました。[EN10]

私たちは、水質と水の有効利用を評価およびモニタし、長期の貯水予想と利用ニーズを確認するために、地元の水道局と定期的にミーティングを行っています。リスク管理の詳細については、「[事業の継続性](#)」をご覧ください。

TIの水利用に起因する近隣(下流)水域への著しい影響はありません。TIは本レポート以外にも、水利用の環境への影響について、CDP(以前のカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)への自主的な報告を続けます。[EN9]

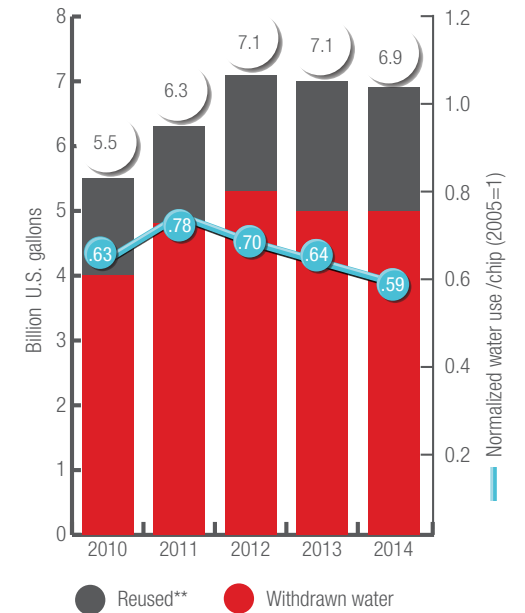
水源



Total water withdrawal (extracted): 5 billion gallons. Total water used: 6.9 billion gallons. This does not include collected rainwater or used-once-through cooling water, which is water pumped from on-site wells at our Freising, Germany, site for heat rejection, which is returned to the same aquifer.

[EN8]

水の総使用量*



*Water obtained from local utilities and on-site wells. This does not include collected rainwater or used-once-through cooling water.

**TI reused 28 percent of its total water consumption in 2014.

水利用

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- 概要
 - 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
 - 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

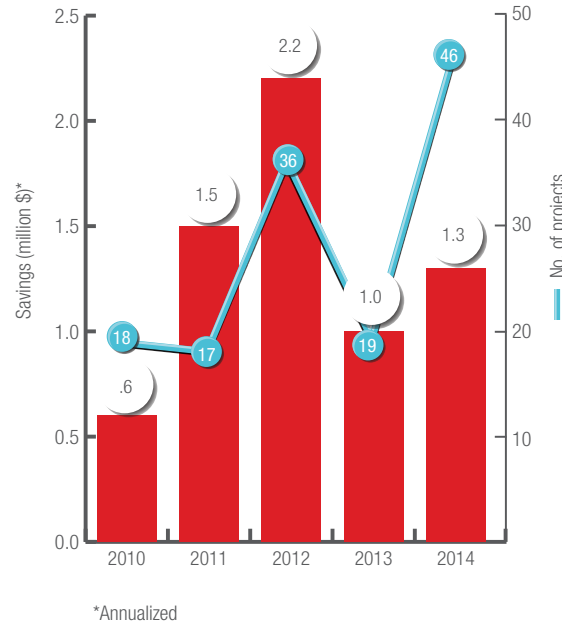
水の利用率化

2010年、私たちは業務運営効率に重点を置いた複数年にわたるサステナビリティ目標を設定しました。5年間の目標の1つはチップの設計、販売、および製造に必要な水の量を2015年までに45%削減することでした。2014年末までに、水使用量は2010年基準から6%の削減を達成しました。2014年後半に水の節約の取り組みを加速したため、2015年通年でこの割合はさらに上昇すると予想されます。

2015年目標 (2010年を基準として)	2014年の 状況
製造する1チップあたりに必要な取水量を45%削減	6%削減

2014年、TIは過去最高の46件の水節約プロジェクトを完了し、水の利用を260万ガロン削減しました。2014年に最も効果的だったプロジェクトは、冷却塔または洗浄装置でツールの洗浄水を再利用するものと、脱イオン化プロセスで逆浸透の第2段階を伴うものでした。

水保全の沿革



2014年には、水の利用削減の取り組みを加速するために、水基準、ウォーター・チャンピオン、水戦略チームという3件の新しい水利用に関する取り組みを開始しました。私たちはこれらの取り組みを2015年以降も継続していきます。

水も使用に関する基準

私たちは業界の状況をモニタし、他社よりも効率的な水利用を努めています。2014年には、水使用量と水収支についての現在の基準をすべての拠点で確認および改善し、測定と報告の一貫性を確保しました。

また、削減目標に対する進捗を管理する、水利用スコアカードを作成しました。スコアカードは地域問題、水不足、水の購入、取水対象、コミュニティの懸念事項についても取り上げています。

水利用に関するチャンピオン

エネルギー・チャンピオン・プログラムの成功を受け、水利用のデータを収集して本社と共有するチャンピオンを各拠点で指名しました。また、このチャンピオンは、水削減プロジェクトのグローバル・データベースを使用して、水管理のベスト・プラクティスを共有します。

水利用

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- 概要
- 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
- 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライチェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

水資源に関する戦略チーム

2014年に結成されたTIの全社レベルの水資源戦略チームは、特に、世界の水の利用効率化に重点を置いています。



2015年もTIは引き続き

特に新しく所有した施設において、水の使用量削減、リサイクル、再利用を推進するための設備改良プロジェクトに資金を提供します。ウォーター・チャンピオンを活用して、水利用効率化の取り組みを戦略的に重点化し、さらに推進することを計画しています。また、大規模で影響力の大きい、1つ以上の水節約プロジェクトの実行可能性に関する研究を行うことを計画しています。

水を効率的に利用し、水の総使用量を削減する取り組みを継続します。2015年の絶対的な削減目標は、水の総使用量を4%削減することです。

化学物質の使用

TIは製造作業のために多くの化学物質とガスを購入しています。半導体の製造には超高純度の化学物質が必要なため、通常、TIはリサイクルされていないケミカルを購入します。しかし、その他の装置で使用する場合は、可能な限りケミカルを再利用します。[EN2]

2014年、TIは以下の内容を実施しました。

- ・ 製造プロセスで廃棄された約170万リットルの硫酸を回収しました。その後、約100万リットルを他のプロセスで再利用し、他社による再利用のために敷地外に765,000リットルを搬出しました。
- ・ テキサス州リチャードソンにある当社の製造施設で、新しいスラリー・リサイクル・システムの運転を開始しました。このシステムは、ウェハー研磨スラリー（混合液）を複数回再利用でき、約120万リットルの購入が不要になります。

また、2014年には各製造施設で1つのプロセス・ケミカルの消費を5%削減するという目標を設定しました。どの化学物質を削減するかは各施設が決定し、年末までにすべての拠点が目標を達成しました。

2014年には化学物質、石油、または燃料の重大な漏出はありませんでした。小規模な漏出や放出が発生した場合、私たちは、放出された廃棄物質を封じ込めて減らし、関係監督機関や当局に連絡し、迅速で適切な浄化活動を実施するよう尽力します。

[EN24]

排気

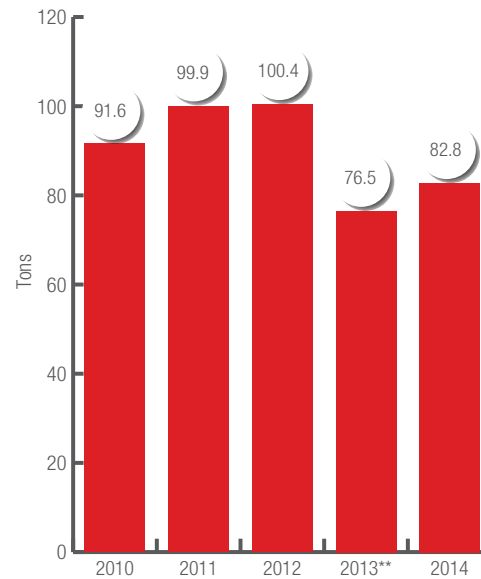
- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
 - 概要
 - 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
 - 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

エネルギー効率を向上する TI のプログラム、装置の保守強化、効率的な製品輸送、および従業員通勤プログラムはすべて、排気の減少に寄与しています。2014 年は揮発性有機化合物 (VOC) の排出削減には成功しましたが、窒素酸化物 (NOx) の排出は増加しました。[EN21]

オゾン層破壊物質であるフロンガス (CFC) 冷却剤を使用している残り 28 基の冷却装置のうち、4 基を交換または廃棄し、TI の CFC 排出量をわずかに低減しました。[EN20]

温室効果ガス (GHG) 排出量の詳細については、「[気候変動](#)」のセクションをご覧ください。

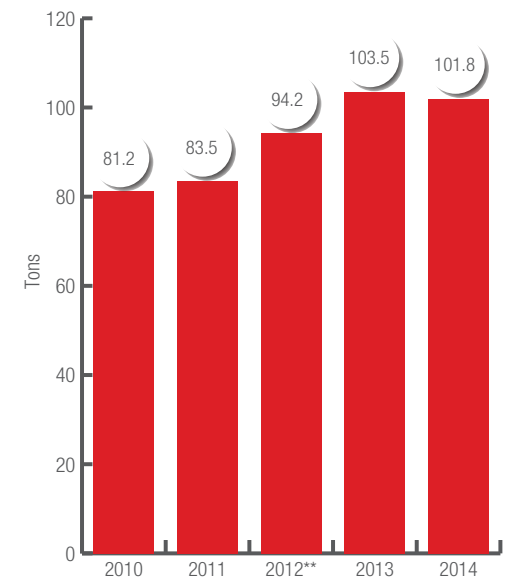
NOx の排出*



*The values account for U.S. sites only. We have not yet calculated global emissions.

**The 2013 decrease is primarily due to the initiated closing of TI's manufacturing facility in Stafford, Texas.

VOC の排出*



*The values account for U.S. sites only. We have not yet calculated global emissions.

**The 2012 increase is primarily due to the acquisition of a manufacturing facility in South Portland, Maine.

排気

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- 概要**
- 業務効率**
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
- 廃棄物と排出**
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

通勤や輸送システム

TI は従業員の通勤から製品の出荷まで、クリーンで効率的な輸送オプションを支援する取り組みを策定しました。私たちは効率的な輸送で、コストと潜在的な環境への影響を低減できることを理解しています。

TI の従業員通勤プログラムは、大量輸送交通機関やカー・プール、定期往復便などの代替通勤手段を支援します。TI の本社や一部の施設では、自転車や徒歩で出勤する従業員向けの施設内シャワー設備や、屋根付きの駐輪場、電気自動車 (EV) 充電ステーション、自転車修理ステーションがあります。

2014 年には、連邦政府から資金提供を受けた EV 普及促進のためのプログラムを利用し、テキサス州の拠点に 42 の EV 充電ステーションを設置しました。EV 充電ステーションを利用できることで、従業員はより電気自動車を購入しやすい環境になります。TI の EV 充電ステーションの利用は毎年増え続けており、2014 年には合計充電時間は 6,013 時間、18,157 kWh の電気が利用されました。年末までに、米国内の EV 充電ステーションの数は 50 を超えました。

単独の地域として TI の従業員が最も多く住んでいるノース・テキサスでは、交通渋滞を緩和して大気汚染改善に貢献するために、通勤ソリューション・プログラムで通勤用相乗りバンと大量輸送交通機関に補助金を支払い、自転車の利用に配慮した設備や拠点間の定期往復便サービス、柔軟性のある勤務体系な

どの実施を行っています。このプログラムでは「自転車通勤の日」などの世界的イベントも推奨しています。2014 年は 13 か国の 28 拠点で、321 名が「自転車通勤の日」に参加しました。

2014 年、TI はカリフォルニア州サンタクララに屋内駐輪場を追加しました。また、カリフォルニア州では、TI 従業員が公共交通機関の料金を税引き前の給料から支払うことができ、さらに交通費用に税引き後の追加金額を支払うオプションがあるプログラムを追加しました。

輸送を低減するための設備やサービスも提供しています。たとえば、各チームにはビデオ会議システムを使用して会合場所への交通費を削減するよう奨励しています。2014 年には従業員の約 55% (全世界でおよそ 17,100 人) にリモート接続ツールを支給しました。

気候変動

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- 概要
- 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
- 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

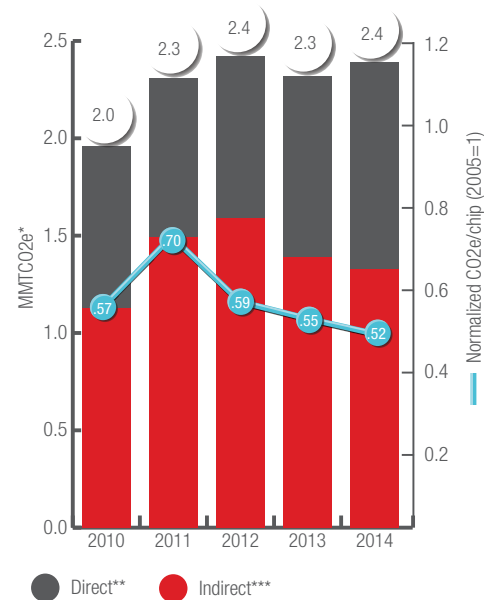
気候変動

TIは気候変動に関する世界的な懸念を真剣に受け止め、温室効果ガス (GHG) 排出が気候変動を引き起こしているという科学的知見を理解しています。私たちは業界として、GHGの排出量削減に取り組んでいます。そのために、新しい製造テクノロジーの開発、低減デバイスや代替化学物質の使用、化学物質の再利用、および不要なペルフルオロ化合物 (PFC) の使用廃止を進めています。PFCは半導体製造で重要な物質であり、GHGの直接排出の大きな排出源です。気候変動関連の法規制の改正により、コンプライアンス活動関連のコストが生じ、エネルギーと原材料のコストが上昇する可能性があります。リスク管理の詳細については、「[事業の継続性](#)」をご覧ください。気候変動に関連する機会 (エネルギー効率化への投資など) の詳細については、「[製品ポートフォリオ](#)」をご覧ください。[EC2]

GHGの実績

TIのGHG排出量の約56%は電気の使用に由来し、44%は拠点における化学物質の使用と、熱と蒸気を得るための天然ガスの燃焼に由来する直接排出です。

二酸化炭素排出量



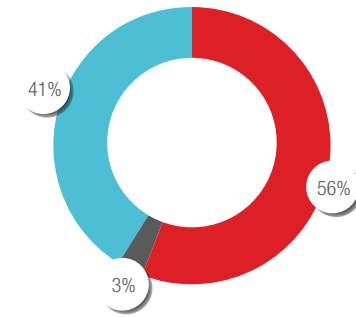
Direct GHG emissions, excluding combustion, are now measured using the U.S. Environmental Protection Agency's (EPA) mandatory GHG rule methodology. Finalized at the end of 2012, the EPA expects all reporting to be fully compliant for 2014 data, which we will report in 2015. This methodology is not backwards-compatible with previous data. The overall effect will be an approximate increase for all semiconductor industry emissions of approximately 10 percent.

*Million metric tons equivalent carbon dioxide (MMTCO2e) is a unit of measure for GHG emissions. Emission totals are from global TI manufacturing sites only.

**Direct (scope 1) emissions include carbon dioxide (CO2), methane (CH4), nitrous oxide (N2O), hydrofluorocarbons, perfluorocarbons, sulphur hexafluoride and nitrogen trifluoride.

***Indirect (scope 2) emissions include CO2, CH4 and N2O.

GHGの排出



- Scope 1: manufacturing gas emissions*
- Scope 1: direct-fuel use emissions*
- Scope 2: indirect emissions**

*Scope 1 emissions are total global emissions from TI-owned or controlled sources.

**Scope 2 emissions are indirect GHG emissions from TI through the company's consumption of energy in the form of electricity, heat, cooling or steam.

気候変動

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- 概要
- 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
- 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライチェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

GHG の削減

TI は、エネルギー使用量の削減に重点を置くことで、直接排出(スコープ1)よりも間接排出(スコープ2)を迅速に削減してきました。

2010年、私たちは業務運営効率に重点を置いた複数年にわたるサステナビリティ目標を設定しました。5年間の目標の1つは、チップあたりのGHG排出量を2015年までに30%削減することでした。2014年の時点で標準化GHG排出量は2010年基準から9%の削減となっています。

2015年目標 (2010年を基準として)	2014年の状況
製造する1チップあたりに必要な温室効果ガス排出量を30%削減	9%削減

[EN18] [EN19]

引き続き全世界で、エネルギー効率化プロジェクトなどの取り組みを実施し、GHG排出量を削減しました。TIのエネルギー削減の詳細については、「[エネルギー利用](#)」をご覧ください。

またTIは、業務の変革を通してGHG排出量を削減しました。日本の大分県日出町と、テキサス州スタッフォードにある製造拠点2か所の閉鎖を完了(閉鎖プロセスは2013年に開始)し、スコープ1とスコープ2の合計排出量削減に貢献しました。どちらの施設も排出量が多いPFCプロセスを使用していました。



2015年、TIは

米国EPAの報告義務要件を満たすだけでなく、世界半導体会議やCDP(以前のカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)などのボランティア団体を通じて、GHG排出実績を報告します。さらに、以下の内容を計画しています。

- ・ 世界中の新しい法規制のモニタリングを継続します。これらは、GHG排出量の報告方法や管理方法に影響を与える可能性があります。
- ・ GHGをさらに削減するため、米国内の拠点で低減テクノロジーを提供できる追加サプライヤを選定します。

廃棄物管理

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境

概要

業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

廃棄物と排出

- 排気の管理
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

- ・ サプライチェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

廃棄物管理

責任ある方法で材料を調達し、廃棄物の扱いと廃棄を適切に管理することで、購入する材料の効率を最大化して、潜在的な環境への影響を低減するよう努力しています。TI の環境、安全、健康 (ESH) 基準は、すべての拠点で、廃棄物を削減するために工学的制御と管理的制御の両方を実施することを求めています。また、可能なかぎり材料の消費を削減し、リサイクルするよう努力しています。

TI は、施設で生成された有害廃棄物を処理、加工、廃棄、輸入、または輸出しません。代わりに、廃棄物管理会社を詳細に評価して契約し、有害廃棄物を除去、輸送、および適切に廃棄します。TI はバーゼル条約の規定に従い、有害廃棄物を国外に輸送しません。[EN25]

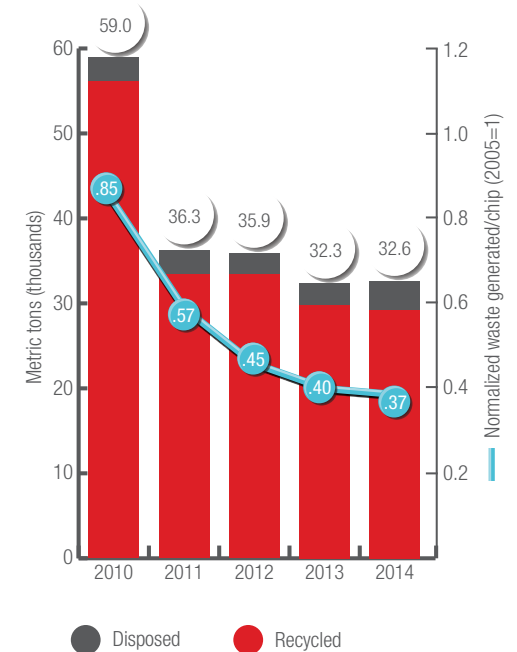
廃棄物のリサイクル

2014 年の合計廃棄物リサイクル率は 90% でした。これは、過去 4 年間の平均である 93% をわずかに下回ります。この低下は主に、ノース・テキサスにおいてベンダーの機器の変更により、TI の廃棄物を燃料混合物として再利用できなかったことが原因です。TI は廃溶剤リサイクルに関して代替のベンダーを積極的に探しており、合計リサイクル率は上昇する予定です。

TI は世界各地の拠点でさまざまな方法でリサイクルを続けました。次に例を示します。

- ・ シリコン・ウェハーをソーラー・パネル製造業者に販売することにより、41 トンのシリコン・ウェハーを埋め立て廃棄せずに済みました。
- ・ 廃溶剤混合物を発電プロセス用に販売しました。
- ・ 1 か所の拠点で、リサイクルした硫酸を洗浄装置と工業廃水処理薬品に使用しました。

廃棄物*



*Totals include hazardous and nonhazardous waste from all manufacturing sites, which accounts for the majority of waste, as well as some of our largest nonmanufacturing sites.

[EN23]

廃棄物管理

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- 概要
- 業務効率
 - エネルギー利用
 - 水利用
 - 化学物質の使用
- 廃棄物と排出
 - 排気の管理
 - 気候変動
 - 廃棄物管理
 - 廃水
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

パッケージ

先進的な製品パッケージと輸送梱包によって廃棄物の削減が進んでいます。2014年も当社は引き続き半導体パッケージから鉛やその他の懸念材料を除去しました。また、パッケージ・サイズを縮小して同じ空間に入る個数を増やしたデザインを導入しました。

輸送に必要なパッケージ材と梱包材の量を削減するために、輸送時に必要な梱包箱の数を減らせる「ジャンボ」リールの使用を開始しました。また、大型300mm ウェハの増産でパッケージ材の量が減少しました。

電気電子機器廃棄物

耐用年数終了時の廃棄について、お客様が情報に基づいた判断を下すことができるように、TIの半導体製品に使用されている材料に関して詳細情報を提供しています。

当社は、TIの教育用テクノロジー（電卓）製品を含む回収プログラムに参加しています。2014年には回収プログラムで58,516個（29トンの電気電子機器廃棄物）と60トンの小売包装をリサイクルしました。これ以外にも、業務運営で29,000トンの材料をリサイクルしています。[\[EN28\]](#)

TIの教育用テクノロジーのリサイクル・プログラムには以下の内容が含まれます。

- ・ 充電式電池のリサイクル：TIの充電式電池には Rechargeable Battery Recycling Corp. (RBRC) の Call2Recycle ロゴが表示されており、TIがこの米国とカナダのリサイクル・プログラムに参加していることが示されています。
- ・ 電気電子機器廃棄物のリサイクル：TIは電気電子機器廃棄で R2 Certified Recycling Co. を利用しています。TIはカナダの8つの州で Electronics Products Recycling Association のメンバーです。
- ・ 紙、パッケージ、および印刷物のリサイクル：TIは、ブリティッシュ・コロンビア、サスカチュワン、マニトバ、オンタリオ各州で Canada Stewardship Services Alliance のメンバーです。また、Eco Entreprises Quebec のメンバーです。

廃水

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境

概要

業務効率

- エネルギー利用
- 水利用
- 化学物質の使用

廃棄物と排出

- 排気の管理
- 気候変動
- 廃棄物管理
- 廃水

- ・ サプライチェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

廃水

TIの水管理基準では、廃水と雨水について守るべき内容を規定しています。この基準は世界中のTIの製造拠点とアセンブリ/テスト拠点に適用され、適用される法規制上の要件よりも厳しい要件を規定しています。現地の管理チームが、法規制要件と会社基準への準拠状況を監視して確実に準拠するようにし、毎月、グローバル環境、安全、健康(ESH)管理チームに報告します。

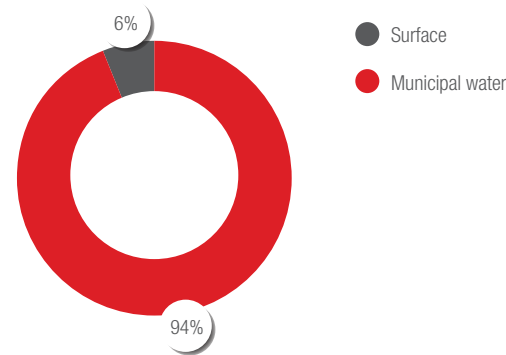
TIの水処理システム・チームは世界中のシステム所有者で構成され、定期的に会合を開いて廃水関連プロジェクトでの協力、情報とベスト・プラクティスの共有、課題の解決を進めています。また、排水制限が確実に守られるように拠点の運営監視を支援します。

TIの施設では処理可能な量の金属やその他の水質汚染物質は生成されないため、通常、TIの廃水処理工場はpHのみを処理します。処理済みの廃水の大部分は、現地自治体の下水道に排出されます。地方自治体は、TIに対して頻繁なモニタリングや検査などの厳格な許可条件を課しています。許可条件に加え、TIの工業廃水処理工場では1年に1回の内部評価と3年に1回の監査を実施しており、トレーニングまたは認定を受けたオペレータが必要に応じて配置されています。

TIは現在、大型300mmウェハーの製造へ移行中ですが、300mmプロセスでは化学物質と水の使用量が減るため、廃水は減少する予定です。

2014年の排水量は2013年よりも19.6%減少しました。2014年には近隣(下流)水域に悪影響を及ぼす予定外の廃水の排出はありませんでした。[\[EN22\]](#)

廃水の排出



サプライチェーン



- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライチェーン

概要

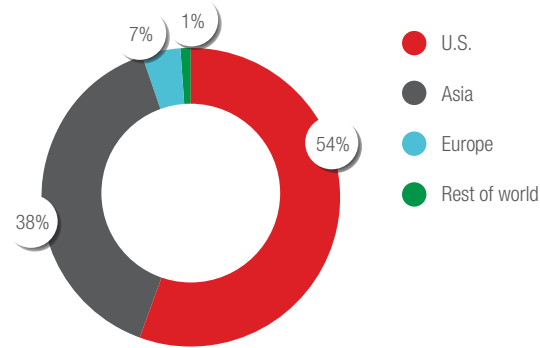
- ・ サステナビリティ(持続可能性)に関する実績
- ・ 多様性
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

概要

世界中に 10,000 社以上のサプライヤを擁する TI のサプライチェーンは、TI の事業の重要な部分を占めます。当社は、サプライヤに良好なコーポレート・シティズンシップを実践することを期待しています。TI は、環境面および社会面で責任ある慣行に従うようサプライヤを指導することで、TI のサプライチェーンが競争力に優れ、かつ持続可能性を確保できるように取り組んでおり、地元の多様なサプライヤと協力することでコミュニティを強化しています。私たちは、TI とサプライヤの責任ある行動と行為について説明責任を負うと考えています。

TI のサプライヤへの支出の上位 80% は、約 300 社のサプライヤが占めており、その約半数は TI の製造プロセスに必要なサプライヤです。当社は TI で製造しないウェハー、アセンブリ、またはテストを外部委託する場合があります。2014 年には、TI の総ウェハー数の約 20% を外部の工場に、アセンブリ/テスト・サービスの約 40% を下請業者に委託しました。**[G4-12]**

地域ごとのサプライヤへの支出*



*Data is based on where suppliers receive payments.

TI の全世界の調達および物流を担当する副社長は、最高財務責任者の直属の部下で、サプライチェーンのポリシー、実績、リスク管理を監督します。半導体業界全体が、水や金属などの資源入手におけるリスクに直面しています。業界のサプライチェーンは世界各地へ展開しているため、重要な物資の供給中断と不安定な価格の影響を受けやすくなっている可能性があります。TI は潜在的なリスクに対処してその影響を緩和するために、サプライヤと緊密に連携しています。

表彰

2014 年、TI はサプライヤの多様性に関する取り組みにより、以下のような賞を授与されました。

- ・ Women's Enterprise USA Magazine の「今年の 100 社」
- ・ Dallas/Fort Worth Minority Supplier Development Council の「自社製品購入先からの購入によるベスト・プラクティス賞」
- ・ Women's Business Council – Southwest の「Done Deals」参加賞

サステナビリティの実績

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライチェーン

概要

サステナビリティの実績

多様性

- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

責任ある公平な商慣習をサプライチェーン全体で推進するために、[TI サプライヤ行動規範](#)と[サプライヤ向けの環境的責任および社会的責任ポリシー](#)は、TIがサプライヤに期待する内容、すなわち尊敬の念をもって従業員と接し、安全な労働条件を提示し、環境に配慮した製造プロセスを実施する、ということについての概要を述べています。さまざまな国際規制が、サプライヤの労働条件に関する監査と実態の改善の責任を判断する場合の課題を提示しています。私たちはこの課題に対処し、これを克服するために、Electronic Industry Citizenship Coalition (EICC) などの組織を通して工業界のパートナーと協力しています。

TI サプライヤ行動規範は、従業員の安全と公平、環境的な責任、および効率を扱っています。TIは2014年、これまでの取り組みをさらに前進させるために、主要製造サプライヤ157社(TIの主要製造支出の80%を占めます)に対し、EICCの自己評価アンケート(SAQ)を使用して会社の環境事業と社会事業の評価を実施するよう求めました。すべてのサプライヤが施設レベルのSAQを少なくとも1つ提出しました。[SO9]

結果の分析では、TIのサプライチェーンは比較的低リスクであることが示されていました。サプライヤのSAQの結果に基づくと、2014年には重大な潜在的または実際の環境、労働慣行、人権、社会に対する悪影響はありませんでした。[EN33] [LA15] [HR11] [SO10]

私たちは、コスト、環境と社会への責任、テクノロジー、責任、供給の確実性、および品質(CETRAQ)のスコアカードを使い、サプライヤの環境的実績と社会的実績を評価します。私たちは、環境と社会に関する効果的な慣行を示したサプライヤを優先することを明確に示し、半年に1回の会合で対話のためのツールとしてスコアカードを使用しています。サプライヤの実績が最低限の基準値に達していないことが判明した場合、TIはサプライヤと協力して改善計画の策定に取り組みます。弊社はすべてのサプライヤがコンプライアンスを確保し、必要であれば改善するように尽力しています。

サプライヤ・エクセレンス・アワード

2015年4月、TIは、優れた製品、サービス、サポートの提供において最高のパフォーマンスを見せたTIのサプライヤを認定し、TIの[サプライヤ・エクセレンス・アワード](#)(SEA)(最高レベルのサプライヤの企業認定)を授与しました。受賞サプライヤの16社はTIのバイヤーと内部パートナーによって推薦され、さまざまな属性に基づいて選考されました。サプライヤの選考では、CETRAQスコアが主に考慮されます。TIの全世界の調達および物流を担当する副社長のロブ・シンプソンは次のように述べています。「TIは、アナログ製品や組み込みプロセッシング製品を主に扱うグローバルな半導体企業として、人々の生活を変えるようなテクノロジーの設計、製造、販売に取り組んでいます。2014年度のSEA受賞各社をはじめ、TIの重要なサプライヤ各社は、TIのビジネスの成功になくてはならない存在です。TIは、100,000社を超える顧客とともに、サプライヤ各社の世界トップクラスのパフォーマンスに今後も期待しています。受賞各社は、卓越した能力とコミットメントにより、TIの価値をより一層高めてくださいました。」

サステナビリティの実績

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライチェーン
- 概要
- サステナビリティの実績
- 多様性
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

CETRAQ および EICC 評価の実施に加え、弊社の主要サプライヤは 2014 年度のリスク評価に参加し、サプライヤの適格性、財務実績、および事業継続性計画が弊社の基準を引き続き満たしていることを確認しました。改善点はありましたが、重大な違反は見つかりませんでした。

私たちは、サプライヤがグローバル・レポーティング・イニシアティブ (GRI) ガイドラインを使用してシティズンシップ・レポートを作成することを推奨しています。TI では、このガイドラインが最も包括的で広く使用されていて理解しやすいフレームワークであると考えています。透明性に対する要求はますます高まっており、年 1 回のサステナビリティ報告書はリスクの評価と管理、環境的機会と社会的機会の発見に役立ちます。[EN32] [LA14] [HR10]

材料の由来

当社は、製品の持続可能性は材料の由来から始まることを認識しています。米国証券取引委員会の紛争鉱物規則に従うために、TI は Conflict-Free Sourcing Initiative (CFSI) に従っています。このイニシアティブは、スズ、タングステン、タンタル、金が紛争と無関係な供給源から調達されていることを確認するために、独立した機関が精錬所や精製所の調達活動を評価することを呼びかけています。また、TI は CFSI の紛争鉱物報告ツールを利用してサプライヤの慣行を追跡し、エレクトロニクス製品に使用されている鉱物が適法の供給源で採掘されていることを確認しています。

2014 年、TI は紛争鉱物レポートを初めて作成し、紛争鉱物規則に従っている精錬所を前年に比べて大幅に増やし、サプライチェーンの分析と対応力について詳細に調査しました。引き続き、サプライヤの紛争との無関係性を高め、サプライヤの施設で拠点の監査と施設レベルのレビューを推進していきます。



2015 年、TI は以下の内容を実施します。

- ・ 更新された TI サプライヤ行動規範とそれに関連する EICC 認定の審査プロセス (VAP) プロトコルについてサプライヤ教育を実施します。
- ・ TI をサポートする主要製造サプライヤすべてに対して施設レベルの SAQ を要求します。
- ・ 高リスク認定を受けたサプライヤの 25% に対して監査を実施します。
- ・ すべての TI 製品における紛争鉱物不使用の実現に向け、サプライヤと協力することにより、サプライチェーン内の紛争鉱物規則に従っている精錬所の割合を増やします。

多様性

- ・ 最高経営責任者の声明
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライチェーン

概要

サステナビリティ(持続可能性)に関する実績

多様性

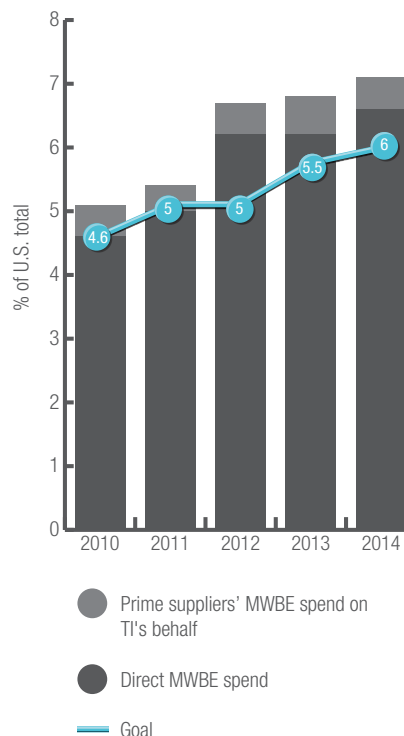
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

TIはマイノリティおよび女性所有の企業(MWBE)を支援するイニシアティブを通じて、サプライチェーンの多様性を20年以上推進しています。

当社は、サプライヤの多様性に向けた取り組みの大部分を、TI本社近くのノース・テキサス地域へ集中しています。サプライチェーンにMWBEを組み込むことで、就業機会を生み出し雇用が増えるため、地域経済の安定性が増します。また、Women's Business Council - SouthwestとDallas/Fort Worth Minority Supplier Development Councilで積極的な役割を果たしています。

TIは2014年、これまでの取り組みをさらに前進させるために、テキサス州ダラスの商工会議所と連携しました。また、TIのマイノリティと女性の事業開発イニシアティブに対するサポートとコミットメントに基づいて選ばれた従業員を「2014年サプライヤの多様性チャンピオン」として表彰しました。2014年は米国における支出の約7.1%がMWBEを対象にしています。これで、TIのMWBEへの支出割合は5年連続の増加になります。[EC9]

米国における MWBE への支出



2015年、TIは以下の内容を実施します。

- ・ TIの大切なパートナーであり続けてもらうために、重要なMWBEサプライヤに指導を行います。
- ・ 米国の購買予算の6.5%以上を認定MWBEに使用します。

コミュニティ

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ

概要

寄付

教育

ボランティア活動

- ・ 進捗状況のサマリ

- ・ GRI インデックス

概要

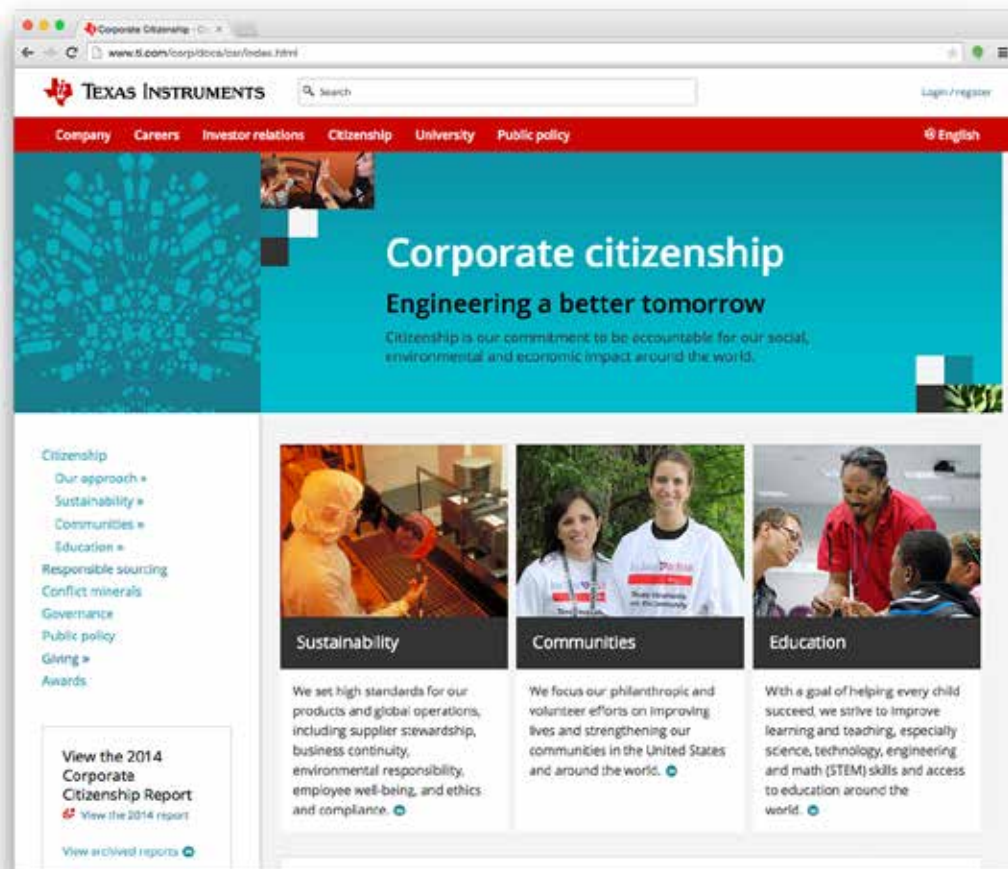
TIは、しっかりとした企業は、しっかりとした地域社会の構築に貢献できると考えています。世界中のTIの事業が現地で就業機会を生んで経済に寄与するだけでなく、TIとその従業員、基金が慈善活動への寄付やボランティア活動を通じてコミュニティを支援しています。教育の改善とTIの拠点があるコミュニティの重要なニーズの充足に特に力を入れており、その中にはテキサス州ダラスのTI本社周辺の文化芸術プログラムが含まれます。私たちが認識している範囲で、TIの事業による地域コミュニティへの悪影響はありません。[SO2]

私たちは2014年にシティズンシップWebサイトを公開しましたが、(地域の特集のある) [コミュニティ](#)と[教育](#)イニシアティブ用の専用セクションがあります。また、コミュニティの最新情報を共有するために、[シティズンシップ・ニュースのブログ](#)、本シティズンシップ・レポート、社内ニュース記事、プレゼンテーション、その他の従業員フォーラムを活用しています。

表彰

2014年、TIはTIの拠点があるコミュニティへのコミットメントにより、以下のような賞を授与されました。

- ・ United Way of Metropolitan Dallas の「思いやりスピリット賞」(同団体の最高の賞)



寄付

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 概要
- ・ 寄付
- ・ 教育
- ・ ボランティア活動
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

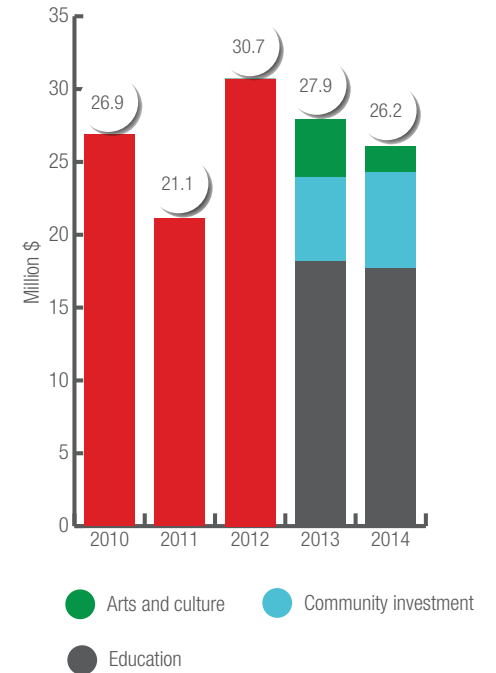
TI は、戦略的投資分野である教育とコミュニティの重要なニーズを中心に、TI の拠点があるコミュニティで生活の質を向上するために資金を投じています。また、テキサス州ダラスの文化芸術プログラムと、全米の同様のプログラムを支援しています。TI の寄付計画の詳細については、TI シティズンシップ Web サイトの[寄付](#)に関するセクションをご覧ください。

昨年、TI は慈善活動への資金援助、マッチング・ギフト、支援物資で 2,620 万ドルを寄付し、最優先事項である教育に 1,770 万ドルを投じました。これには、TI、TI 財団、および TI コミュニティ基金からの寄贈が含まれます。加えて、TI の従業員と退職者がコミュニティ、教育、および芸術イニシアティブに 580 万ドルを寄付しました。[EC1]

TI は 2014 年、非営利のパートナーによるオンライン支援システムの利用と支援の影響に関するデータ取得が簡単になるようにシステムを変更しました。また、献金とメンバーシップに関する社内のポリシーおよびプロシジャーを見直して更新しました。これにより、TI の[助成ガイドライン](#)と一致する、一貫したグローバル承認プロセスが文書化され、電子承認・支払いシステムが使いやすくなりました。当社の企業慈善活動プロセスに対する内部監査では、改善提案は若干数のみで、効果が証明されました。改善提案は実施済みです。

インドでは、2014 年 4 月 1 日に発効したインド会社法に準拠するようにプロセスとプログラムを発展させました。この法令では、特定の規模の会社が、過去 3 年間の平均利潤の 2% を社会的な活動に寄付するよう求めています。TI インドは従業員の努力によって何年間もコミュニティ活動をしてきましたが、この法令により、戦略を明確化して、教育やその他の差し迫ったコミュニティのニーズに対応するプログラムを拡大する機会が生まれました。私たちは、CSR (企業の社会的責任) 委員会とコミュニティ活動参加チームを正式に承認し、戦略ごとに従業員のリーダーを任命しました。

慈善活動への寄付



*Contributions made by TI, the TI Foundation and TI Community Fund. Total giving does not include TI's annual contribution to the TI Foundation (\$15 million in 2014). However, it does include in-kind donations (\$1.5 million in 2014).

寄付

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ

概要

寄付

教育

ボランティア活動

- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

教育

労働市場では科学、技術、工学、および数学 (STEM) スキルに対する高い需要があります。TI は、高校生が中等教育後に STEM 関連の学位やキャリアに進めるように、卒業までに STEM 科目で高いスキルを習得できるよう支援する教育プログラムに資金を提供しています。当社は米国内で非常に大きな影響がある多数のプログラムを支援しており、学生の態度を変え、成績を上げた実績があります。米国外では、質の高い教育を受けられるようにするための教育イニシアティブに資金提供しています。TI の取り組みの詳細については、「[教育](#)」をご覧ください。

コミュニティへの投資

世界各地で、ボランティアの従業員で構成された TI のコミュニティ活動参加チームが、現地で最も差し迫ったニーズを見つける手伝いをしています。TI は、そうやって見つけ出されたニーズに資金を提供しています。

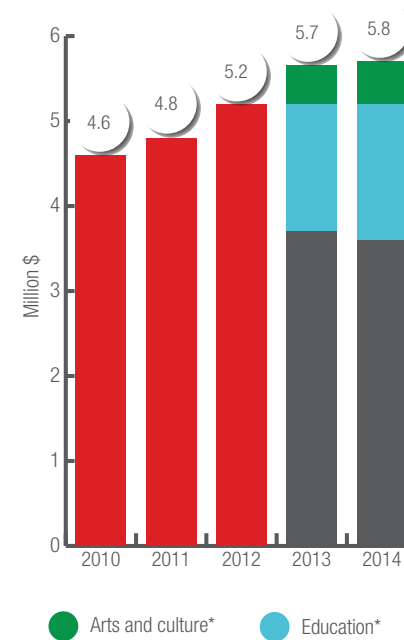
2014 年、TI と TI 財団は、この領域で 660 万ドル以上の支援を行いました。これには、従業員と退職者による United Way やその他のコミュニティ組織への寄付と同額の 360 万ドルが含まれます。また、ボランティア・インセンティブ・プログラム (VIP) による支援で、従業員と退職者のボランティア活動時間に基づいて 400,000 ドル以上を非営利団体へ寄付しました。VIP は 2012 年の導入以来、従業員の間で勢いが増し続けています。

従業員の寄付

2014 年、TI の従業員はコミュニティのために 580 万ドルを寄付しました。TI では、従業員が世界各地にある拠点の地域コミュニティで生活の質向上に貢献できるように支援しています。TI の 25 を超える多様性イニシアティブは、寄付とボランティア活動を通してコミュニティのニーズを支援しようと活発に活動しています。

米国では、TI の会長、社長兼最高経営責任者リッチ・テンプレトンがトップを務めた 2014 TI United Way キャンペーンが、TI、従業員、退職者、TI 財団からの寄付で 740 万ドル以上を集めるという記録を達成しました。これは、2013 年を 800,000 ドル上回る金額です。また、TI 従業員の参加率は十数年ぶりの高水準でした。年の初め頃、TI は United Way of Metropolitan Dallas の地域最高の賞である「思いやりスピリット賞」を受賞しました。また、シリコン・バレーとメイン州で力を入れている取り組みも評価されました。

従業員の寄付*



- Arts and culture*
- Education*
- Community investment**

*Giving tracked through the U.S.-based TI Foundation matching gifts program.

**Includes health and human services, United Way, disaster-relief and other. Disaster-relief includes employee gifts in support of domestic and international disaster-relief efforts but does not include value of employee volunteer hours.

寄付

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- 概要
- 寄付
- 教育
- ボランティア活動
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

芸術

私たちは、文化芸術団体が提供する、豊かで向上した生活の質を高く評価しています。TIの本社があるテキサス州ダラスのコミュニティにおけるTIの芸術支援は、TIの創業者らにまでさかのぼります。その伝統は、かけがえのない優れた芸術団体への寄付という形で脈々と受け継がれています。TI財団はマッチング・ギフト・プログラムを通してダラス以外の文化芸術団体も支援しています。

2014年、TIとTI財団は、合わせて180万ドルの支援を文化芸術団体に対して提供しました。さらにTI財団は、マッチング・ギフトで非営利の芸術グループに500,000ドルを支援しました。TI財団の支援は運営全般に役立ち、TIの企業資金は舞台芸術団体、展覧会、その他のイニシアティブを後援するために使用されました。後援には、TIの従業員と退職者がダラスの活気に満ちたアート・コミュニティの優れたイベントを体験できるという、もう1つの利点もあります。



2015年の寄付に関する目標は以下のとおりです。

- ・ マイノリティ層へのSTEM助成金を強化します。
- ・ TIの助成金を受けられるSTEMプログラムとTI従業員が協働できる機会を設け、投資の影響を高めます。
- ・ カリフォルニア州サンタクララとメイン州サウスポートランドで、複数年にわたる新しい助成プログラムを立ち上げます。
- ・ 従業員のマッチング・ギフトとボランティアのマッチング・プログラムについて新しく最低金額の引き下げを実施します。
- ・ 特定の国際拠点に対して、従業員のマッチング・ギフトとボランティアのマッチング・プログラムの拡大を図ります。

優れたSTEM担当教師の認定

学生の成果に最も影響を与えるものの1つが優れた教師です。STEM教育における効果的な指導を促進するための取り組みの一環として、TI財団はテキサス州ダラスにある本社で、ダラス、メスキー、プレーノー、リチャードソン独立学区の14名の教師に [Innovations in STEM Teaching Awards](#) を授与しました。この賞は、STEM科目において、一貫して質の高い指導を行い、生徒の成果を生み出した、地域の中等教育学校の教師を表彰することを目的としています。2007年より、TI財団はSTEMアワードに900,000ドルを投資しており、これらの学区の90名の優れた教師を認定し、確保しています。TIはカリフォルニアおよびノース・テキサス(シャーマンとデニソン)でもティーチャー・アワードを支援しています。また、TIはダラスの [Grants for Innovative Teaching](#) のジュニア・リーグも後援しており、革新的な教育用ツールやプログラムを提供しています。

教育

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- 概要
- 寄付
- 教育
- ボランティア活動
- 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

私たちの慈善活動の最優先事項は、教育のサポートです。教育は個人、企業、経済の成長を促し、イノベーションが生まれ育つエコシステムを創出します。TIは**主な目的**として、米国におけるSTEMの改善と世界中で教育を受ける機会を増やすことに重点を置いています。ここ5年間でTIは1億5,000万ドルを超える金額を教育に投資しています。

2014年には以下の活動を通してコミットメントを拡大しました。

- ・ 寄付: TIは教育への投資を5%増やし、合計3,620万ドルを投じました。**初等教育と中等教育のイニシアティブ**、**高等教育**、イノベーション教育の**テクノロジー**と学習用**リソース**に資金提供しました。これには、慈善活動への寄付1,770万ドルが含まれます。
- ・ 共同パートナーシップ: TIはSTEM教育のために共同パートナーシップをさらに推進しました。特に歴史的にエンジニアリングへの進出が進んでいない女性とマイノリティの生徒の教育に力を入れました。
- ・ 従業員の参画: TIは従業員に、ボランティア、指導者、チューター、支持者として教育へ直接関与することを奨励しました。その結果、2014年はボランティア活動時間が数千時間に及びました。また、従業員が学校のプログラムでボランティアをしたり生徒に話しかけたりする場合に使用する教育ツール・キットを開発しました。

ツール・キットにはカリキュラム、リソース資料、配布物、ビデオが含まれています。詳細については、「**ボランティア活動**」をご覧ください。

初等および中等 STEM 教育

2014年、TIとTI財団は、STEM教育が不十分な環境の生徒にSTEM教育の機会を拡大すると共に、生徒の成果に最も大きな影響を及ぼすSTEM担当教師の質と量を強化するプログラムを支援しました。TIとTI財団が支援したプログラムの例については、TI **シティズンシップ Web サイト**をご覧ください。

教育者に向けた活動

TIは引き続き、STEMを担当する教師不足に対応する米国のプログラムへの投資を行ったほか、優秀な教師の専門的能力開発や表彰なども行いました。その例としては、Advanced Placement (AP) Incentive Program、Teach for America、UTeach、National Alliance of Partnerships in Equity、Silicon Valley Community FoundationのCommon Core InitiativeやSTEMを担当する教師の表彰などが含まれます。

学生向けの活動

TIはTI拠点のある全米各地のコミュニティで、多数の非営利団体や学校と提携し、STEMを学ぶ学生の成績向上支援や、学生がSTEM関連の仕事に就くための働きかけを行いました。マイノリティの学生を対象としたプログラムには、指導、夏期キャンプ、課外プログラム、校外学習、ロボット・チームなどが含まれます。

教育を受ける機会

米国外では、STEM教育プログラムに加えて、より多くの学生が質の高い教育を受ける機会を得られるよう支援するプログラムに投資しました。中国では、2014年に行った投資により、農村地域の学生が学校、テクノロジー、本などを利用できるよう支援しました。インドでは、TIや従業員が個人指導、指導、奨学金などを通じて、350名を超える低所得層の学生の学業向上支援を行いました。

ビジネスを通じた教育支援

TIは教育用テクノロジーや半導体製品の販売に加えて、ビジネスを通じてテクノロジーに関するカリキュラムやツールを提供することで、STEMに対する学生の理解や関心の向上に努めました。

教育

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- 概要
- 寄付
- 教育
- ボランティア活動
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

2014年には、TIの教育用テクノロジー・ビジネスと National Council of Teachers of Mathematics とが連携し、『Principles to Actions』の8つの Mathematics Teaching Practices を実演する無料のアクティビティを企画しました。TIが企画した別の無料レッスン・シリーズである「Building Concepts」は、数学の基本概念を取り上げており、全米共通学力標準で概説されているグレードレベル標準に準拠しています。また、[GEAR UP](#) サイトでSTEM 夏期キャンプを数回実施し、低所得層の学生が中等後教育に進み、成果を得ることができるよう支援しました。

TIは工学に対する関心を集めるため、引き続き [FIRST](#)、[VEX](#)、および [BEST](#) の3つのロボット・プログラムの支援を行いました。2014年は、スポンサー活動に約100,000ドル、ツールの寄贈に約300,000ドル、ボランティア活動時間に約5,000時間を寄与しました。TIは、全米各地の特定の学校と連携し、コーディングから革新的な製品設計に至るまで、学生が早期に工学に関する実践学習を行うための [TI ローンチパッド](#) を提供しました。FIRST Robotics Kit of Parts には、3,100個のローンチパッドを寄付しました。

大学との提携

TIは、世界各地の2,600の大学と提携して、最新のアナログおよび組込みテクノロジーを工学カリキュラムに組み入れるよう支援しました。2014年末時点で、7,000を超える教育およびイノベーション・ラボを設立し、教師および学生の双方の知識やスキル

を高めるためのエンジニアリング・ツールやトレーニングを提供しました。学習した内容を実践するために、60,000名を超える生徒が2014年のTIイノベーション・チャレンジ設計コンテストに参加しました。また、学生と教師の双方が参加する約300の調査プロジェクトに引き続き投資を行いました。

TIは現在、ユニバーシティ・プログラムを通じて毎年500,000名を超える学生と接しています。また、2014年は大規模公開オンライン講座(MOOC)にとって重大な年となり、米国および欧州の有名大学で3つの立ち上げに成功したことで、エンジニアリング・ハンズオン・トレーニングの利用拡大へとつながりました。STEMのマイノリティ層への働きかけを支援するために、すでにこのようなプログラムを実施している大学の学生組織と提携しました。たとえば、2014年には、サンフランシスコ湾岸地域にある高校のマイノリティ層や低所得層に、ロボット・プログラムや指導教育プログラムを通じて援助を行う、カリフォルニア大学バークレー校の学生運営プログラムであるPioneers in Engineeringの支援を行いました。



2015年もTIは、STEMイニシアティブと教育を受ける機会に引き続き注力していく予定です。以下の内容を実施します。

- ・ 2012年の最初の助成金交付からの肯定的な結果に対して投資を行うために、テキサス州ランカスターのSTEM学区に対する支援を評価します。
- ・ トレーニング・プログラムの支援を拡大し、STEMを担当する教師の確保および拡大を図ります。
- ・ 助成金を高い割合で、女性、アフリカ系アメリカ人、ヒスパニックなどのマイノリティのSTEM学生への支援に充てます。
- ・ [US2020](#) と提携し、米国の従業員や退職者がマイノリティの学生に指導を行うことで、STEM教育に影響を与えることができる機会を増やします。
- ・ より多くの学生が質の高い教育を受ける機会を得られるよう、中国とインドに引き続き投資を行います。
- ・ ラボやコンペティションを追加することで、ユニバーシティ・プログラムの対象範囲を拡大するほか、マイノリティを対象とする2つ以上の学生向けのプログラムと協働します。

教育

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 概要
- ・ 寄付
- ・ 教育
- ・ ボランティア活動
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

ノース・テキサスにおける高校生への支援

TI 財団は 2000 年より、ダラス地域の学区の学生が厳格な AP コースに挑戦し、成果を得ることができるよう、1,300 万ドルを投資してきました。National Math and Science Initiative (NMSI) の AP Incentive Program は、このプログラムがなければ AP コースを受け、成果を得ることができない多数の学生に奨学金を提供しています。AP コースを支援するための教師の教育、設備、備品用の給付金も提供しています。研究によると、AP カリキュラムは、学生が大学レベルの勉強の準備ができていないかを判断する際に利用できる最適な指標であることがわかっています。AP コースを修了した学生は、大学を卒業する可能性が 3 倍高く、マイノリティの学生の場合、その倍率がより高くなります。AP コースを修了したアフリカ系アメリカ人とヒスパニックの学生は、大学を卒業する可能性が 4 倍高いことがわかっています。また、2014 年下半期に発表された研究によると、テキサス州ダラス（すべての高校で AP Incentive Program が実施されている地域）のマイノリティの学生は、他の大都市の学区と比較して、AP の数学や科学の試験において合格点を獲得する傾向が 2 倍以上高いことがわかっています。2014 年に TI 財団は、このプログラムをテキサス州ガーランドに拡大するために投資を行いました。

中国農村部の学生のための学校

小学校に通う費用を賄うことができない家庭の学生が教育を受けられるように、2014 年初めにテキサス・インスツルメンツ初のプロジェクト・ホープ小学校（中国青少年発展基金会のプロジェクト）が南部県に開校しました。この学校には、マルチメディア設備が整った教室やプロジェクト・ホープ・ライブラリなども用意されています。開校式典の一環として、学生に STEM 分野に関心を持ってもらうために、TI の従業員がコースを企画して授業を行いました。インタラクティブなアクティビティを利用し、本当のテキサス・スタイルであるカウボーイ・ハットもかぶりしました。

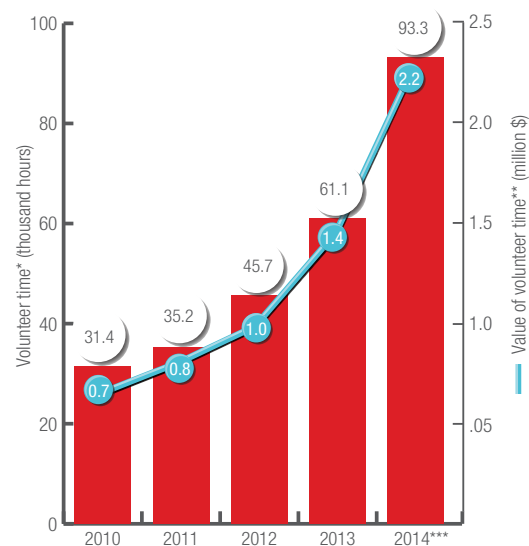
2014 年 11 月には、丹林におけるテキサス・インスツルメンツ・プロジェクト・ホープ小学校の着工が行われ、3 つ目の学校を建設する場所も選定されました。これらの学校に加え、TI は中国中央部および西部の貧困地域の学校に、マルチメディア設備が整った教室を 120 室寄付し、学習能力を向上するために、テクノロジーを活用して学習効果を高める方法について、4 つの省の 285 名の教師に指導を行いました。

ボランティア活動

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- 概要
- 寄付
- 教育
- ボランティア活動
- 進捗状況のサマリ
- GRI インデックス

TI 発足以来、従業員はボランティア活動や寄付を通じて地域コミュニティの生活の質を向上するために取り組んできました。現在も、世界中の TI の従業員や退職者が、TI 拠点のあるコミュニティに関与することで、コミュニティの強化に引き続き努めています。2014 年にはボランティア活動時間が 93,000 時間となり、2013 年と比べて 53% 増加しました。これらの時間は時間寄付にすると、約 220 万ドルに相当します。

ボランティアの時間と価値



*These are estimates based on select, company-sponsored volunteer activities.

**Value based on Independent Sector calculation (hourly values vary between years): http://www.independentsector.org/programs/research/volunteer_time.html.

***The large increase year-on-year increase is partially due to the addition of U.S. employee volunteer incentive program (VIP) for the first time.

2014 年のボランティア活動の増加を促すために、以下の対策を実施しました。

- ・ これまで以上に多くの上級ビジネス・リーダーにコミュニティでアクティブに活動するよう働きかけ、その結果、リーダーはチームと一緒にボランティア活動を行うよう働きかけました。
- ・ ユナイテッド・ウェイ・ボランティア・プログラムの支援とスポンサー活動を増やしました。5,000 名を超える TI の従業員と退職者がユナイテッド・ウェイ団体のパートナーとボランティア活動を行いました。これにはユナイテッド・ウェイの委員会、理事会、助成委員会、助成審議会への従事や、「100 Day of Impact」ボランティア・イベントや他のイベントへの参加などが含まれます。
- ・ 米国でオンライン学習ツール・キットを導入することで、K-12 の学生を引き付けて STEM 関連の仕事に関心を示してもらえるように、従業員に対象年齢に適したプレゼンテーションやツールを提供しました。
- ・ TI の従業員がグローバル戦略に沿いながら、地域コミュニティの固有のニーズに合ったコミュニティ活動参加計画を策定できるように、グローバル・コミュニティ活動参加チーム向けのリソース・ガイドを作成しました。
- ・ 900 名を超えるメンバーを抱える TI の新入社員向けイニシアティブ (NEI) など、ダラスとサンフランシスコ湾岸地域で 25 の異なる多様性イニシアティブの支援を行いました。NEI によって、ミレニアル世代や初めてボランティア活動に参加する人々の、コミュニティ・サービス・プログラムへの強力な参加を促すことができました。

ボランティア活動

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライチェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 概要
- ・ 寄付
- ・ 教育
- ・ ボランティア活動
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

- ・ コミュニティ・パートナーとのボランティア・イベントを管理するためのオンライン・ツールを導入し、従業員のアクセス、登録、およびコミュニケーションの向上を図りました。
- ・ Center for Nonprofit Management のセッションを通じて、影響力のあるコミュニティ・リーダーとなるよう米国内の従業員のトレーニングを実施しました。現在、400 名を超える TI の従業員が、世界各地のさまざまな非営利理事会で任務を遂行しています。

STEM 教育に関するボランティア活動

教育に重点を置いて寄付活動を行っていたことから、2014 年のボランティア活動は、従業員がより大きな影響を与えることができる分野で実施することにしました。従業員や退職者は、ロボット指導員、科学技術フェアの審査員、指導者、個人指導者、キャリアプランニング・アドバイザー、STEM キャンプ講演者などを務めました。2014 年に開発したボランティア・ツール・キットには、STEM の理解や STEM 関連の仕事に固有のモジュールを含めました。

インドでは、TI の従業員は毎年 5 都市で開催される「India Science and Technology Quiz」の支援に 750 時間以上寄与しました。中国では、TI の従業員は教師の指導や Magic Electronics コンテストの企画に 614 時間のボランティア活動を行いました。



2015 年の目標は以下のとおりです。

- ・ コミュニティ活動参加支援を行うプログラムを拡大するための新しいリソースを提供することで、従業員のボランティア活動を 30% 増やします。
- ・ より的を絞った働きかけを行い、従業員エンゲージメント・チームや上級管理職の参加を促すことで、従業員が参加しやすい環境を作ります。

従業員評価

TI では毎年、TI 創設者コミュニティ・サービス賞を通じて、世界中の従業員のコミットメントを評価しています。外部の審査員からなる独立した委員会によって、際立ったコミュニティ・サービスの取り組みや、TI の拠点があるコミュニティでより良い将来を築くために寄与した受賞者が選定されます。2014 年には、米国、イスラエル、フィリピン、中国、インドを含む **世界各地の 15 の従業員やチーム** が受賞し、ボランティア活動を行った対象組織に 1,000 ドルの助成金を提供できました。

ボランティア活動を通じた ユナイテッド・ウェイの 90 周年の祝賀

2014 年、TI はユナイテッド・ウェイ・オブ・メトロポリタン・ダラスの 90 周年記念と、ノース・テキサスにおけるそのサービスを称える、9 つのコミュニティにわたる一連のボランティア・プロジェクトであるユナイテッド・ウェイ・オブ・メトロポリタン・ダラスのナイン・フォー 90 の **冠スポンサー** を務めました。ユナイテッド・ウェイ National Football League パブリック・サービス・キャンペーンに参加する Dallas Cowboys の元フットボール選手が各プロジェクトを支持しました。他の 47 社の企業から参加した約 1,000 名の他のボランティアと一緒に、700 名を超える TI の従業員が働き、ボランティア全体で 10,000 時間を超えるボランティア活動時間を 56 の非営利団体に対して寄与し、1,700 名の学生を含む、5,000 名のノース・テキサスの人々がその恩恵を受けることができました。プロジェクトには、学生向けの STEM およびキャリアプランニング・デイ、女性の保護施設の改装、高齢者への食事の配達、健康フェアやフィットネス・フェア、退役軍人への住宅の提供などが含まれました。一部のプロジェクトのビデオを [こちら](#) からご覧いただけます。

進捗状況のサマリ

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

年間目標

TIは、パフォーマンスの改善を促し、コスト削減を達成するために、1年間の目標と複数年の目標の両方を立てています。この進捗状況の要約には、これらの目標と各目標に対する進捗の概要が記載されています。このレポートの該当セクションには、各分野の2014年度の実績の詳細があります。

	説明	2010		2011		2012		2013		2014		2015
		目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標
従業員	TIのパフォーマンスは、業界トップにあり続けており(米国半導体工業会のランキングに基づく)、その地位は、TIが積極的な安全に関するプロセスや目標を通じて維持することを目指しているものです。											
	安全:休業、仕事に制限が生じる、または仕事の移管が生じる事例(割合)	0.08	0.13	0.08	0.09	0.08	0.12	0.08	0.08	0.08	0.14	0.08
	半導体業界の結果*		0.80		0.80		0.80		0.90			
	安全:要記録事例(割合)	0.20	0.26	0.20	0.19	0.20	0.24	0.20	0.22	0.20	0.22	0.20
	半導体業界の結果*		1.50		1.60		1.60		1.60			

進捗状況のサマリ

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

環境	TI では、世界中の事業活動において、資源を可能な限り効率的に利用することを目指しています。												
	水利用** (削減率:%)												4
	光熱費: エネルギーと水 (削減額: 百万ドル)	4	6.4	5	8.6	6	10.1	8	10.2	9	9.7	9.5	
	製造拠点とアセンブリ/テスト拠点での化学物質の使用** (削減率:%)					3	3***	3	3	5	5		
説明	2010		2011		2012		2013		2014		2015		
	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標		
サプライ・チェーン	TI は、マイノリティおよび女性所有の認定サプライヤを活用することで、多様性と競争力のあるサプライ・チェーンを実現するとともに、TI の拠点があるコミュニティの強化に努めています。												
	マイノリティ/女性所有のビジネス・サプライヤへの支出 (米国サプライ・チェーンへの支出全体に占める割合:%)	4.6	5.1	5	5.4	5	2.0	5.5	6.8	6	7.1	6.5	
コミュニティ	世界中の従業員が、自分の時間と経験を生かして地域コミュニティの強化に貢献しています。												
	ボランティア活動時間** (増加率:%)							25	33	25	53	30	

*米国 労働安全衛生局 (OSHA) の業界データ。統計は米国の実績のみを示します。レポート作成時点では、2014 年のデータは提供されていませんでした。

**2012 年以降に設定された目標。

***製造拠点の 92%、アセンブリ/テスト拠点の 100% でこの目標を達成しました。

進捗状況のサマリ

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス

複数年の目標

2010年に、TIは2015年までに半導体チップの設計、販売、製造に必要な資源使用量と排出量を削減するために、持続可能性に重点を置いた3つの目標を設定しました。それ以降の年には、TIの事業活動において、これらの目標を達成するための取り組みに影響を与えた、大きな変化がありました。それは、3つの新工場の稼働を開始し、5つの工場を取得したことです。

2014年には、老朽化し効率が悪い拠点2か所の閉鎖を完了して、製造を統合しました。これにより、エネルギーと水の合計使用量を削減し、チップの総生産量を増やすことができました。生産量を増やし、効率化プロジェクトを引き続き実施していることから、TIの2015年目標に対する進捗では、継続的な改善が見られます。

2015年目標(2010年を基準として)	2014年の状況
製造する1チップあたりに必要なエネルギー量を45%削減	23%削減
製造する1チップあたりに必要な取水量を45%削減	6%削減
製造する1チップあたりに必要な温室効果ガス排出量を30%削減	9%削減
2020年目標(2010年を基準として)	
米国エネルギー省の「優れた建物、優れた工場」プログラムの目標を採用しました:米国製造拠点でエネルギー強度を25%削減	達成

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

一般標準開示項目			
インジケータ	一般標準開示項目	ページ/対応/省略	外部機関による保証
	戦略と分析		
G4-1	組織の最高意思決定者の声明	最高経営責任者の声明	no
	組織のプロフィール		
G4-3	組織の名称について	会社概要	no
G4-4	主要なブランド、製品およびサービスについて	会社概要	no
G4-5	本社の所在地	12500 TI Boulevard, Dallas, Texas 75243 (会社概要)	no
G4-6	組織が事業展開している国の数、および重要な事業所を有している国、報告書中に掲載しているサステナビリティに関連のある国について	会社概要	no
G4-7	組織の所有形態や法人格の形態について	Incorporation: SEC フォーム 10-K	no
G4-8	参入市場(地理的内訳、参入セクター、顧客および受益者の種類を含む)について	製品、会社概要	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者から
のご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-9	<p>組織の規模 (次の項目を含む) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総従業員数 ・ 総事業所数 ・ 収入 ・ 提供する製品、サービス 	<p>2014年12月31日現在で、TIの従業員数は31,003人です。2014年、TIは、35か国に設計、製造、販売の事業拠点をもち、数多くの製品を供給しました。売上高は130億5,000万ドルでした (SEC フォーム 10-K、2～3、8ページ)。</p>	no
G4-10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用契約別および男女別の総従業員数について ・ 雇用の種類別、男女別の総正社員数を報告する。 ・ 従業員・派遣労働者別、男女別の総労働力について ・ 地域別、男女別の総労働力について ・ 組織の作業の相当部分を担う者が、法的に自営業者と認められる労働者、従業員や請負労働者 (請負業者の従業員とその派遣労働者を含む) 以外の者であるか ・ 雇用者数の著しい変動 (例えば観光業や農業における雇用の季節変動) があれば報告する。 	従業員	no
G4-11	<p>団体交渉協定の対象となる全従業員の比率について</p>	<p>現在、比率のトラッキングを実施していません。フランスとドイツでは、従業員はそれぞれの国の法規制に従って、地域の従業員代表委員会で代表者を選出しています。 (人権)</p>	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ

GRI インデックス

一般開示項目

特定開示項目

- 経済活動
- 環境活動
- 社会活動

G4-12	サプライチェーンについて	<u>サプライ・チェーン</u>	no
G4-13	報告期間中の、組織の規模、構造、所有形態またはサプライチェーンに関する重大な変更について、以下の例を含む <ul style="list-style-type: none"> ・所在地または事業所の変更(施設の開設や閉鎖、拡張を含む) ・株式資本構造の変化、その他資本の形成、維持、変更手続きの実施による変化(民間組織の場合) ・サプライヤーの所在地、サプライチェーンの構造、またはサプライヤーとの関係の変化(選択や終了を含む) 	フリー・キャッシュ・フローは 35 億ドルで、前年比 18% 増です。300mm ウェハーでのアナログ増産計画を開始し、開発に 14 億ドルを投資し、株主に 42 億ドルを還元しました。(会社概要)	no
G4-14	組織が予防的アプローチや予防原則に取り組んでいるか否か、およびその取り組み方について報告する。	気候変動や事業の継続性への取り組みなど、事業運営におけるさまざまな面で予防原則を検討しています。さらに、積極的な化学物質および材料のスクリーニング・プロセスにより、解明されていない危険性や制御されていない危険性を含む可能性のある材料を使用していないことを保証しています。	no
G4-15	外部で作成された経済、環境、社会憲章、原則あるいはその他のイニシアティブで、組織が署名または支持したものを一覧表示する。	<u>自主基準</u>	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-16	<p>(企業団体など) 団体や国内外の提言機関で、組織が次の項目に該当する位置付けにあるものについて、会員資格を一覧表示する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガバナンス組織において役職を有しているもの ・ プロジェクトまたは委員会に参加しているもの ・ 通常の会員資格の義務を超える多額の資金提供を行っているもの ・ 会員資格を戦略的なものとして捉えているもの 	政策提言 (メンバーシップ)	no
レポートの構成と区分			
G4-17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の連結財務諸表または同等文書の対象になっているすべての事業体の一覧 ・ 組織の連結財務諸表または同等文書の対象になっている事業体のいずれかが報告書の掲載から外れていることはないかどうか 	<p>T1の連結財務諸表には、アナログと組込みプロセッシングの2つの報告対象となるセグメントが含まれていません。残りの事業活動の実績については、その他 (SEC フォーム 10-K、3 ページ) で報告しています。このレポートでは、財務諸表に含まれるすべての事業体についてのシティズンシップに関するトピックを扱っています。 レポートの概要</p>	no
G4-18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書の内容と区分プロセス ・ 組織が「報告内容に関する原則」をどのように適用したか 	レポートの概要	no
G4-19	報告書の内容を確定するためのプロセスで特定したすべての事業一覧	ステークホルダーとの関わり	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ

・ GRI インデックス

一般開示項目

特定開示項目

- 経済活動
- 環境活動
- 社会活動

G4-20	<p>組織内の報告事項と区分について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該報告事項について ・ 当該事項が、組織内のすべての事業体 (G4-17 による) にとって重要事項でない場合、次の 2 つの方法のどちらかを選択して報告する <ul style="list-style-type: none"> - G4-17 の一覧に含まれており、その事項が報告すべき事業体または事業体グループの一覧、または、 - G4-17 の一覧に含まれており、その事項が報告すべき事業体または事業体グループの一覧 ・ 組織内の事項に関して具体的な制限事項があれば報告する 	レポートの概要	no
G4-21	<p>各マテリアルな側面について、組織外の側面のバウンダリーを次の通り報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事項が組織外で報告事項であるか否か ・ 当該事項が組織外で報告事項である場合には、その理由となった要素 また、特定した事業体で当該事項が報告事項である地理的所在地を記述する ・ 組織外の具体的な制限事項 	レポートの概要	no
G4-22	<p>過去の報告書で提供した情報を修正再記述する場合の、その影響および理由</p>	報告する修正再記述はありません。	no
G4-23	<p>範囲や事項について、過去の報告期間からの重要な変更</p>	レポートの概要	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

	ステークホルダーとの関わり		
G4-24	組織が関わりをもつたステークホルダー・グループの一覧	ステークホルダーとの関わり	no
G4-25	組織が関わりをもつたステークホルダーの特定および選定基準	ステークホルダーとの関わり	no
G4-26	ステークホルダーとのかかわり方(種類別、ステークホルダー・グループ別のエンゲージメント頻度など)について、またそれを特に報告書作成プロセスの一環として行ったものか否か	ステークホルダーとの関わり	no
G4-27	ステークホルダーとの関わりで提起された主なテーマや懸念、およびそれに対して組織がどう対応したか(報告を行って対応したものを含む) また主なテーマや懸念を提起したステークホルダー・グループ	ステークホルダーとの関わり	no
	報告書のプロフィール		
G4-28	提供情報の報告期間(会計年度、暦年など)	暦年	no
G4-29	最新の発行済報告書の日付(該当する場合)	2014年 6月	no
G4-30	報告サイクル(年次、隔年など)。	年次	no
G4-31	報告書またはその内容に関する質問の窓口	ララ・バレンティン・フセイン、 持続可能性・ステークホルダー関連担当	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者から
のご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織が選択した「準拠」のオプション ・ 選択したオプションの GRI 内容索引 (以下の表を参照) ・ 報告書が外部保証を受けている場合、外部保証報告書の参照情報 (GRI では外部保証の利用を推奨しているが、これは本ガイドラインに「準拠」するための要求事項ではない)。 	これは GRI G4 中核 (Core) レベルの報告書です。	no
G4-33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書の外部保証に関する組織の方針、および現在の状態 ・ サステナビリティ報告書に添付された保証報告書内に記載がない場合は、外部保証の範囲および基準 ・ 組織と保証の提供者の関係 ・ 上位のガバナンス組織や役員が、組織のサステナビリティ報告書の保証に関わっているか否か 	<u>レポートの概要</u>	no
	ガバナンス		
G4-34	組織のガバナンス構造 (最高ガバナンス組織の委員会を含む) 経済、環境、社会影響に関する意思決定の責任を負う委員会の特定	<u>ガバナンス</u>	no
	倫理と誠実		
G4-56	組織の価値、理念および行動基準・規範 (行動規範、倫理規定など)	<u>エシックス</u>	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

特定標準開示項目			
DMAと指標	特定標準開示項目	ページ/対応/省略	外部保証
経済			
経済的パフォーマンス			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	会社概要	no
G4-EC1	創出、分配した直接的経済価値	年次報告 で経済的パフォーマンスに関する情報を提供しています。「 会社概要 」と「 寄付 」のセクションでも、経済的パフォーマンスと慈善活動の実績についての詳細をそれぞれ説明しています。	no
G4-EC2	気候変動によって組織の活動が受ける財務上の影響、その他のリスクと機会	気候変動 についての財務上の潜在的影響を数値化していません。	no
G4-EC3	確定給付型年金制度の組織負担の範囲	給与と福利厚生	no
G4-EC4	政府から受けた財務援助	会社概要	no
市場でのプレゼンス			
G4-EC5	重要事業拠点における、地域最低賃金に対する標準最低給与の比率(男女別)	給与と福利厚生	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-EC6	重要事業拠点における、地域採用者の上級管理職の比率	従業員	no
	調達		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	サプライ・チェーン	no
G4-EC9	重要事業拠点における地元サプライヤーへの支出の比率	サプライヤーの多様性	no
環境法			
	原材料		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	環境	no
G4-EN2	使用原材料におけるリサイクル材料の割合	化学物質の使用 その他の製造材料については、多数のサプライヤーと取引を行っているため、調達したリサイクル材料の割合を検証するのは困難です。	no
	エネルギー		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エネルギー利用	no
G4-EN3	社内のエネルギー消費量	エネルギー利用	no
G4-EN5	エネルギー	エネルギー利用	no
G4-EN6	エネルギー消費量の削減	エネルギー利用	no
G4-EN7	製品およびサービスのエネルギー所要量の削減	製品ポートフォリオ、製品の影響	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

	水道		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	水利用	no
G4-EN8	水源別の総取水量	水利用	no
G4-EN9	取水によって著しい影響を受ける水源	水利用	no
G4-EN10	リサイクルおよびリユースした水の総量と比率	水利用	no
大気への排出			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	排気、気候変動	no
G4-EN15	直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 1)	気候変動	no
G4-EN16	間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 2)	気候変動	no
G4-EN18	温室効果ガス (GHG) 排出原単位	気候変動	no
G4-EN19	温室効果ガス (GHG) 排出量の削減量	気候変動、エネルギー利用	no
G4-EN20	オゾン層破壊物質 (ODS) の排出量	排気	no
G4-EN21	NOX、SOX、およびその他の重大な大気排出	排気	no
廃水および廃棄物			
G4-DMA	側面のマネジメント手法の開示項目	廃棄物管理	no
G4-EN22	水質および排出先ごとの総排水量	廃水	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者から
のご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-EN23	種類別および処分方法別の廃棄物の総重量	廃棄物管理	no
G4-EN24	重大な漏出の総件数および漏出量	化学物質の使用	no
G4-EN25	バーゼル条約 2 付属文書 I、II、III、VII に定める有害廃棄物の輸送、輸入、輸出、処理重量、および国際輸送した廃棄物の比率	廃棄物管理	no
製品およびサービス			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	製品	no
G4-EN27	製品およびサービスによる環境影響緩和の程度	製品	no
G4-EN28	使用済み製品や梱包材のリユース、リサイクル比率(区分別)	廃棄物管理(電気電子機器廃棄物)	no
コンプライアンス			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	環境	no
G4-EN29	環境法規制の違反に関する高額罰金の額、罰金以外の制裁措置の件数	環境	no
環境全般			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	環境	no
G4-EN31	環境保護目的の総支出と総投資(種類別)	環境	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

サプライヤーの環境評価			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	<u>サプライヤーのサステナビリティ</u>	no
G4-EN32	環境基準により選定した新規サプライヤーの比率	<u>サプライヤーのサステナビリティ</u>	no
G4-EN33	サプライチェーンにおける著しいマイナス環境影響(現実的、潜在的なもの)および行った措置	<u>サプライヤーのサステナビリティ</u>	no
環境の苦情処理制度			
G4-EN34	環境影響に関する苦情で、正式な苦情処理制度を通じて申立、対応、解決を行ったものの件数	<u>環境(ガバナンス)</u>	no
社会			
労働慣行とディーセント・ワーク			
雇用			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	<u>従業員</u>	no
G4-LA1	従業員の新規雇用者と離職者の総数と比率(年齢、性別、地域による内訳)	<u>人材、雇用の継続</u>	no
G4-LA2	派遣社員とアルバイト従業員には支給せず、正社員に支給する給付(主要事業拠点ごと)	<u>給与と福利厚生</u>	no
G4-LA3	出産・育児休暇後の復職率と定着率(男女別)	<u>雇用の継続</u>	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

	労使関係		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	従業員	no
G4-LA4	業務上の変更を実施する場合の最低通知期間(労働協約で定めているか否かも含む)	米国の TI では、シフト変更については少なくとも 1 週間前までに、人員整理(または解雇予告手当)については少なくとも 60 日前までに通知を行っています。米国外の TI では、地域の労働法に従っています。	no
	労働安全衛生		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	安全	no
G4-LA5	労働安全衛生プログラムについてモニタリング、助言を行う労使合同安全衛生委員会に代表を送る母体となっている総労働力の比率	安全	no
G4-LA6	傷害の種類と、傷害・業務上疾病・休業日数・欠勤の比率および業務上の死亡者数(地域別、男女別)	安全	no
G4-LA7	業務関連の事故や疾病発症のリスクが高い労働者数	TI には、事故率や特定疾病発症率の高い業務活動に従事する作業員はいません。TI では、作業場でのあらゆる化学物質への暴露を最小限に抑え、作業員の健康に悪影響を及ぼさないようにする、非常に強力な産業向け衛生管理プログラムを採用しています。	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

研修および教育			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	育成	no
G4-LA9	従業員一人あたりの年間平均研修時間(男女別、従業員区分別)	育成	no
G4-LA10	スキル・マネジメントや生涯学習のプログラムによる従業員の継続雇用と雇用終了計画の支援	育成	no
G4-LA11	業績とキャリア開発についての定期的評価を受けている従業員の比率(男女別、従業員区分別)	育成	no
多様性と機会均等			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	多様性	no
G4-LA12	ガバナンス組織の構成と従業員区分別の内訳(性別、年齢、マイノリティーグループその他の多様性指標別)	多様性	no
男女同一報酬			
G4-LA13	女性の基本給と報酬総額の対男性比(従業員区分別、主要事業拠点別)	給与と福利厚生	no
サプライヤーの労働慣行評価			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	サプライ・チェーン	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-LA14	労働慣行基準によりスクリーニングした新規サプライヤーの比率	<u>サプライヤーのサステナビリティ</u>	no
G4-LA15	サプライチェーンでの労働慣行に関する著しいマイナス影響(現実のもの、潜在的なもの)と実施した措置	<u>サプライヤーのサステナビリティ</u>	no
	労働慣行に関する苦情処理制度		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	<u>従業員</u>	no
	雇用期間		
TI-LA17*	TI の従業員の平均勤務年数	<u>雇用の継続</u>	no
人権			
	投資		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	<u>人権</u>	no
G4-HR2	業務関連の人権についての方針、手順を内容とする従業員研修を行った総時間(研修を受けた従業員の比率を含む)	<u>エシックス</u>	no
	非差別		
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	<u>多様性と包括性</u>	no
G4-HR3	差別事例の総件数と実施した是正措置	<u>多様性</u>	

*TI により作成。

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

保安慣行			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス	no
G4-HR7	業務関連の人権方針や手順について研修を受けた保安要員の比率	TIの組織であるワールドワイド・プロテクティブ・サービスには、安全で互いを尊重できる職場環境を全世界で保持するための標準プロトコルがあります。このプロトコルには、エシックス、コンプライアンス、人権などの内容を含む対象のトレーニングを、保安要員全員に実施することが含まれています。(エシックス)	no
先住民の権利			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	人権	no
G4-HR8	先住民族の権利を侵害した事例の総件数と実施した措置	人権	no
認証			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	人権	no
G4-HR9	人権レビューや影響評価の対象とした業務の総数とその比率	人権	no
サプライヤーの人権評価			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	人権	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-HR10	人権クライテリアによりスクリーニングした新規サプライヤーの比率	サプライヤのサステナビリティ	no
G4-HR11	サプライチェーンにおける人権への著しいマイナスの影響(現実のもの、潜在的なもの)、および実施した措置	サプライヤのサステナビリティ	no
人権に関する苦情処理制度			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	人権	no
G4-HR12	人権影響に関する苦情で、正式な苦情処理制度により申立、対応、解決を図ったものの件数	人権	no
社会			
地域コミュニティ			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	コミュニティ	no
G4-SO1	事業のうち、地域コミュニティとのエンゲージメント、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率	TI は、慈善活動、ボランティア、リーダーシップの関与、共同イニシアティブ(特に、教育の分野)を通じて、地域コミュニティに積極的に関わっています。また、地元のサプライヤや市民団体のリーダーとも協力しています。なお、正式な影響評価は行っていません。	no
G4-SO2	地域コミュニティに著しいマイナスの影響(現実のもの、潜在的なもの)を及ぼす事業	コミュニティ	no
腐敗防止			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者からのご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-SO3	腐敗に関するリスク評価を行っている事業の総数と比率、特定した著しいリスク	腐敗に関するリスクについて、世界にある事業拠点すべてを評価していません。(エシックス)	no
G4-SO4	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	エシックス	no
G4-SO5	確定した腐敗事例、および実施した措置	腐敗事例については、内部レビューと対策用に事例を記録していますが、この情報は極秘情報とみなされるため、現在、公式の報告は行っていません。腐敗に関するすべての事例を問題なく解決できるよう取り組んでいます。	no
政策提言			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	政策提言	no
G4-SO6	政治献金の総額(国別、受領者・受益者別)	政策提言	no
反競争的行為			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス	no
G4-SO7	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により法的措置を受けた事例の総件数およびその結果	腐敗事例については、内部レビューと対策用に事例を記録していますが、この情報は極秘情報とみなされるため、現在、公式の報告は行っていません。腐敗に関するすべての事例を問題なく解決できるよう取り組んでいます。(会社概要)	no
コンプライアンス			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者から
のご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-SO8	法規制への違反に対する相当額以上の罰金金額および罰金以外の制裁措置の件数	<u>エシックス</u>	no
サプライヤーの社会への影響評価			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	<u>サプライヤーのサステナビリティ</u>	no
G4-SO9	社会に及ぼす影響に関するクライテリアによりスクリーニングした新規サプライヤーの比率	<u>サプライヤーのサステナビリティ</u>	no
G4-SO10	サプライチェーンで社会に及ぼす著しいマイナスの影響（現実のもの、潜在的なもの）および実施した措置	<u>サプライヤーのサステナビリティ</u>	no
社会への影響に関する苦情処理制度			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	<u>エシックス</u>	no
製品責任			
顧客の安全衛生			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	<u>品質と信頼性</u>	no
G4-PR2	製品やサービスのライフサイクルにおいて発生した、安全衛生に関する規制および自主的規範の違反事例の総件数（結果の種類別）	<u>品質と信頼性</u>	no
製品およびサービスのラベリング			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	<u>品質と信頼性</u>	no

GRI インデックス

- ・ 最高経営責任者から
のご挨拶
- ・ レポートの概要
- ・ 事業内容
- ・ 従業員
- ・ 製品
- ・ 環境
- ・ サプライ・チェーン
- ・ コミュニティ
- ・ 進捗状況のサマリ
- ・ GRI インデックス
 - 一般開示項目
 - 特定開示項目
 - 経済活動
 - 環境活動
 - 社会活動

G4-PR3	組織が製品およびサービスの情報とラベリングに関して手順を定めている場合、手順が適用される製品およびサービスに関する情報の種類と、このような情報要求事項の対象となる主要な製品およびサービスの比率	品質と信頼性	no
G4-PR4	製品およびサービスの情報とラベリングに関する規制ならびに自主的規範の違反事例の総件数 (結果の種類別)	品質と信頼性	no
マーケティング・コミュニケーション			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	エシックス	no
G4-PR7	マーケティング・コミュニケーション (広告、プロモーション、スポンサー活動を含む) に関する規制および自主的規範の違反事例の総件数 (結果の種類別)	品質と信頼性	no
顧客プライバシー			
G4-DMA	マネジメント手法の開示項目	事業の継続性	no
G4-PR8	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して実証された不服申立の総件数	事業の継続性	no



コーポレート・シティズンシップ・チーム
12500 TI Boulevard, MS 8656
Dallas, Texas 75243

将来の予測に関する記述の注意事項

本書にはリスクや不確定要素を含む将来の予測に関する記述が含まれており、予測と大きくかけ離れた結果となる可能性があります。この「将来の予測に関する記述」(TI の製品およびテクノロジーから予測される利益に関する記述や TI の期待内容、計画、目的、意図、目標などの記述)は 1995 年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図しています。将来の予測に関する記述と大きくかけ離れた結果となる可能性があるリスクや不確定要素についての詳細は、TI の最新の年次報告書をご覧ください。将来の予測に関する記述は、新たな情報、将来の出来事、リスクの結果に関わらず、更新する意図や義務はないものとします。



TI は、より優れた明日の技術をサポートします。

TI の英語版 2014 コーポレート・シティズンシップ・レポート
(ti.com/ccr) と詳細 (ti.com/citizenship) をご覧ください

 citizenshipreportfeedback@list.ti.com

 facebook.com/texasinstruments

 twitter.com/AroundTI

プラットフォーム・バーはテキサス・インスツルメンツの商標です。その他の商標および登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。

© Texas Instruments Incorporated 2015